

暮 ら し づ く り

令和 4 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	1 暮らしを支える拠点地区の充実
施策の将来の目標像	各拠点地区の役割に応じた機能が適正に配置され、様々な機能が集積される都市拠点を中心として、拠点間が相互に連携し合いながら、地域の生活・にぎわい・交流を支える拠点地区が形成されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
	居住誘導区域内の人口密度	西条・八本松・志和・高屋 50.1人/ha、 黒瀬 48.7人/ha、河内 16.2人/ha、 安芸津 23.3人/ha*住民基本台帳	西条・八本松・志和・高屋 52.0人/ha、 黒瀬 現状維持、河内 現状維持、 安芸津 現状維持*住民基本台帳
	空き家バンク登録件数	23件 *累計実績値	150件 *累計実績値

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 良好な市街地形成の推進	主管部局・所属	都市部 都市計画課
関係部局・所属	都市部 都市整備課	都市部	区画整理課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	都市の成長が持続され、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるように、各拠点地区の特性に応じて都市機能を集積するとともに、安全・安心な都市環境の形成により、良好な市街地の形成を図る。	現状	狭隘な道路や無秩序な開発など、安全・安心な都市環境が形成されていない。	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
市街地の防災・減災機能を向上させるインフラの整備が不十分		JR駅周辺のまちづくり	高	1
安全・安心な憩いの場が不足している		安全・安心な憩いの場となる公園づくり	中	2
無秩序な宅地化が進展している		拠点地区周辺の市街地整備の取り組み	低	3
市街地において必要な生活機能の集約が図られていない		まちづくりに関する総合的な計画策定	低	4

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R3	R4	R5		
(7) 市街地整備事業区域内人口(西条第二地区内の人口)	8,259 (H30)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	9,561	10,039	10,541	11,000 (R6)	人
(4) 各拠点地区周辺の人口(合計)	36,696 (H30)		38,373	38,948	39,532	43,870 (R12)	人
(5)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費(千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	3	1,394,208	230,498			
	4	2,482,596	906,821			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R3 当初予算額	R4 当初予算額
				R3 決算額	R4 決算額
1-1	1・1・1 八本松駅前土地区画整理事業【特会】	区画整理課	6.00	569,950	1,353,027
1-2	8・5・3 八本松駅前土地区画整理関連公共事業	区画整理課	4.00	471,332	617,860
1-3	8・5・3 八本松駅前地区計画事業	区画整理課	2.00	0	199,038
2-1	8・5・4 公園整備事業	都市整備課	3.00	210,000	180,600
3-1	8・5・5 西条第二地区地区計画整備事業	都市整備課	4.00	60,945	80,903
4-1	8・5・1 都市計画推進事業	都市計画課	2.00	81,981	51,168
合計			21.00	1,394,208	2,482,596

7 R4事業費の分析（差額＝「R4年度当初予算額」－「R4年度決算額」）		
差額	分析	
8 R4成果指標の分析（成果指標の平均達成率）		
平均達成率	分析	
9 取組の分析		
区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	
10 総合評価		
総合評価	<総評>	
11 今後の課題及び取組方針		
課題		課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	1 暮らしを支える拠点地区の充実	① 良好な市街地形成の推進

事業の概要			
戦略	1 JR駅周辺のまちづくり	予算 2,169,925 千円	前年度 1,041,282 千円
事務事業	1-1 八本松駅前土地区画整理事業 【特会】	予算 1,353,027 千円	前年度 569,950 千円

内容

1-1_八本松駅前土地区画整理の推進

八本松駅周辺の狭隘な幹線道路、生活道路や、住環境を一体的に整備し、良好な都市環境を形成するため、土地区画整理事業による市街地整備を行う。

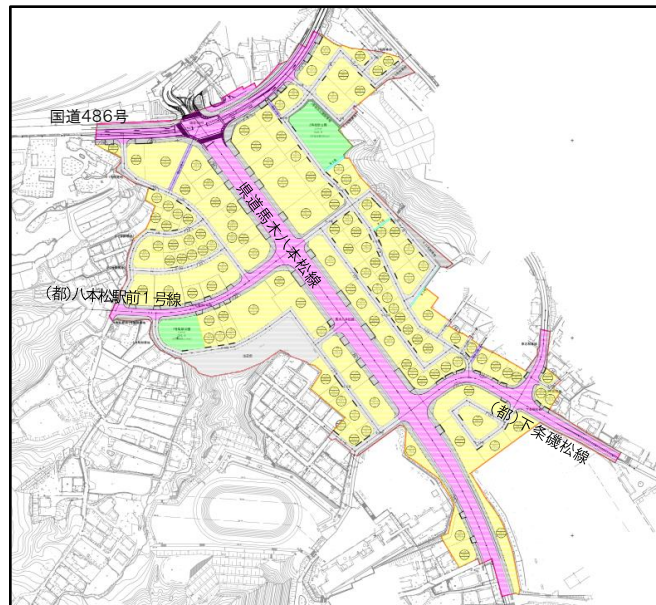
施行面積	10.6ha
総事業費	7,512 百万円
平均減歩率	34.67%
保留地面積	3,647.26m ²

- ① 物件移転補償・調査等（1,280,500 千円（前年度 562,820 千円））
土地区画整理事業の移転計画に則り、移転が必要となる建物等の補償や調査等を行う。
- ② 造成工事（65,000 千円（前年度 0 千円））
土地区画整理事業の移転計画に則り、造成工事を行う。

■事業スケジュール

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7以降
事業概要			補償		→	→
				工事	→	→
						換地計画・換地処分 →

■事業概要図



事業の概要						
戦略	1	J R 駅周辺のまちづくり	予算	2,169,925 千円	前年度	1,041,282 千円
事務事業	1-2	八本松駅前土地区画整理関連公 共事業	予算	617,860 千円	前年度	471,332 千円

内容

1-2_八本松駅前土地区画整理に関連する公共施設の整備

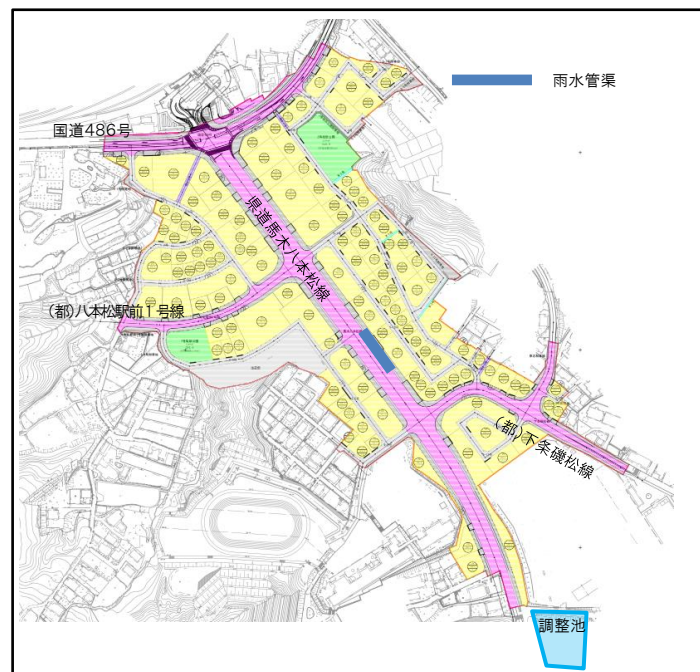
土地区画整理事業と関連し、地区内の雨水排水施設や公園等を整備することで、良好な住環境の形成を図る。

- ① 調整池等整備（467,000 千円（前年度 330,000 千円））
土地区画整理事業に関連する調整池の整備等を行う。
- ② 雨水管渠整備（90,000 千円（前年度 0 千円））
土地区画整理事業に関連する雨水管渠の整備等を行う。

■事業スケジュール

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7以降
事業概要			工事 (調整池)			
			工事 (雨水管渠等)			

■事業概要図



事業の概要					
戦略	1	JR駅周辺のまちづくり	予算	2,169,925 千円	前年度 1,041,282 千円
事務事業	1-3	八本松駅前地区計画事業	予算	199,038 千円	前年度 0千円

内容

1-3_八本松駅周辺の公共施設の整備

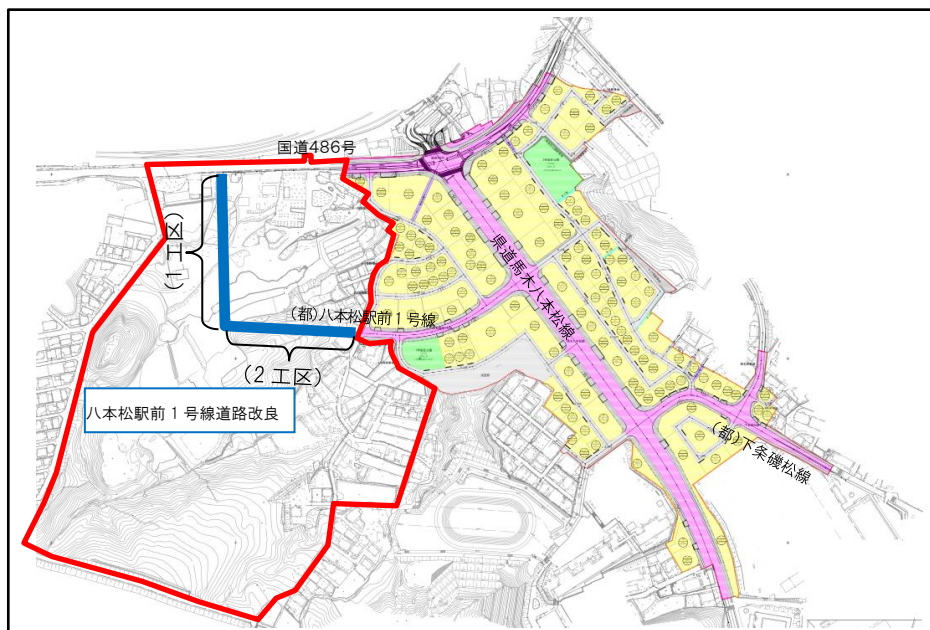
土地地区画整理事業区域の西側などで幹線道路等社会資本の整備を行うとともに、地区計画による民間活力を活かしたまちづくりを進めることで、隣接する土地地区画整理事業と合わせ、より魅力的な市街地の形成を図る。

- ① 八本松駅前1号線道路改良（178,500千円（前年度0千円））
八本松駅前1号線の道路改良工事・用地買収を行う。
- ② 地区計画等検討業務（20,000千円（前年度0千円））
八本松駅周辺において地区計画等の検討を行う。

■事業スケジュール

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7以降
事業概要			用地取得 (八本松駅前1号線)			
			工事 (八本松駅前1号線1工区)			(同2工区)
			地区計画等検討			

■事業概要図



事業の概要					
戦略	2	安全・安心な憩いの場となる公園づくり	予算	180,600 千円	前年度 210,000 千円
事務事業	2-1	公園整備事業	予算	180,600 千円	前年度 210,000 千円

内容

2-1_都市公園等の整備

安全で快適な公園づくりを行うことで良好な都市環境の形成を図る。

① 東広島運動公園の整備（180,600千円（前年度210,000千円））

ア 東広島運動公園の整備（うち101,000千円）

心の潤いや安らぎを与える休養・休息の場、スポーツやレクリエーション活動により健康で健全な育成の場として、また災害時における避難場所としての効果や機能を有する東広島運動公園の整備を行う。

■事業スケジュール

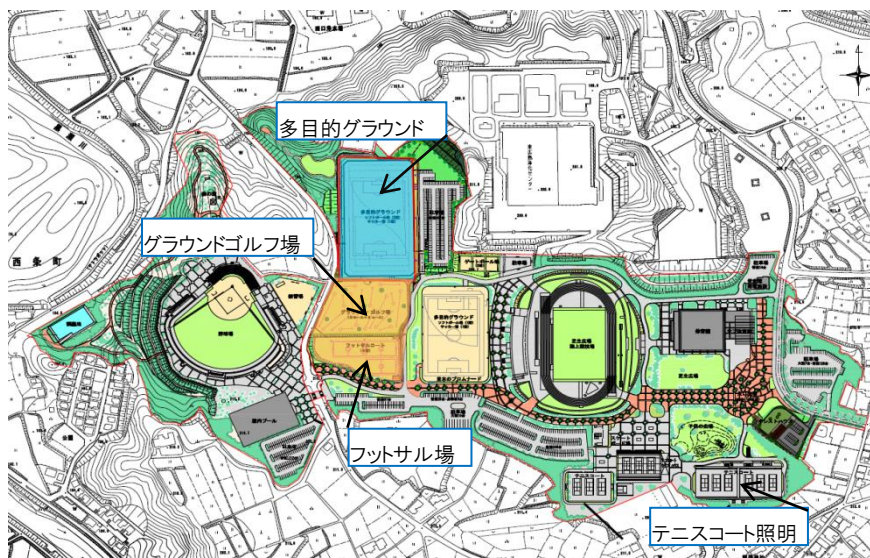
年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7以降
事業箇所	多目的グラウンド				多目的グラウンド	
		グラウンドゴルフ場				
			フットサル場			
				テニスコート照明		
				トイレ		
						多目的グラウンド照明 フットサル場照明 陸上競技場照明

イ テニスコート照明設計・トイレ設計（うち7,000千円）

東広島運動公園のテニスコートに照明を設置するにあたり詳細な設計を行う。

また、東広島運動公園内にトイレを設置するにあたり詳細な設計を行う。

■事業概要図



事業の概要				
戦略	3	拠点地区周辺の市街地整備の 取組み	予算 80,903 千円	前年度 60,945 千円
事務事業	3-1	西条第二地区地区計画整備事 業	予算 80,903 千円	前年度 60,945 千円

内容

3-1_西条第二地区の整備

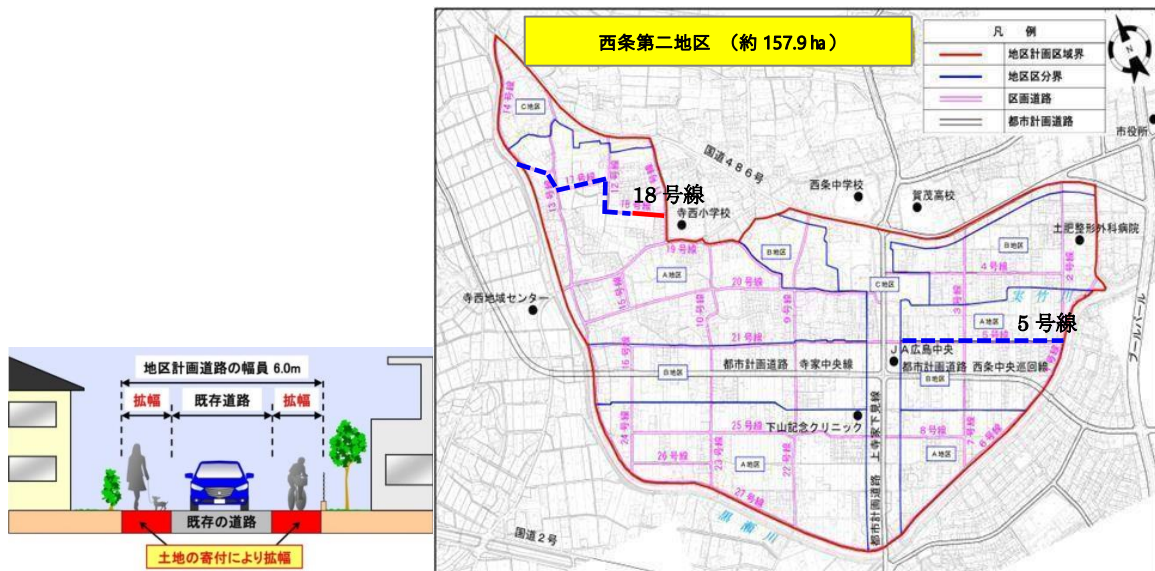
西条中心部に近接し、開発圧力の高い西条第二地区における良好な都市環境を形成するため、西条第二地区（約 157.9 ha）内の地区計画道路を拡幅し、良好な交通環境の形成を図る。

- ① 地区計画道路の整備（80,903 千円（前年度 60,945 千円））
地区計画道路 6 路線の補償・用地事務や道路改良等を行う。

■事業スケジュール

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7以降
事業概要	補償・用地事務		5号線等			
	工事		18号線			

■事業概要図



事業の概要				
戦略	4	まちづくりに関する総合的な 計画策定	予算 51,168 千円	前年度 81,981 千円
事務事業	4-1	都市計画推進事業	予算 51,168 千円	前年度 81,981 千円
内容				
<p>4-1_都市計画の推進</p> <p>① 都市計画事業等の取組み（41,168 千円（前年度 81,981 千円）） 健康で文化的な活力ある地域づくりのため、土地利用やまちづくりの方策等を調査検討するなど、都市計画行政の関連事務を実施する。</p> <p>【新】② 逆線引き等の防災・減災まちづくりに係る検討 （10,000 千円（前年度 0 千円）） 災害リスクを低下させ、災害発生時においても、被害を最小限に止めるため、区域区分の見直し（市街化区域内の土砂災害特別警戒区域を市街化調整区域へ編入する逆線引き）や建築物の浸水対策等について検討する。 なお、区域区分の見直しについては、都市機能や土地利用の現状を踏まえ、住宅・店舗・工場等の都市的土地利用が行われていない箇所から先行的に進める。</p>				

令和 4 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	1 暮らしを支える拠点地区の充実
施策の将来の目標像	各拠点地区の役割に応じた機能が適正に配置され、様々な機能が集積される都市拠点を中心として、拠点間が相互に連携し合いながら、地域の生活・にぎわい・交流を支える拠点地区が形成されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
	居住誘導区域内の人口密度	西条・八本松・志和・高屋 50.1人/ha、 黒瀬 48.7人/ha、河内 16.2人/ha、 安芸津 23.3人/ha*住民基本台帳	西条・八本松・志和・高屋 52.0人/ha、 黒瀬 現状維持、河内 現状維持、 安芸津 現状維持*住民基本台帳
	空き家バンク登録件数	23件 *累計実績値	150件 *累計実績値

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 住環境の整備・保全	主管部局・所属	都市部 住宅課
関係部局・所属	地域振興部 地域づくり推進課		

3 目指す姿と戦略

目指す姿	安全・安心に暮らせる良好な住環境の形成	現状	市内3,760件の空き家のうち、563件が老朽空き家となっている。 市営住宅971戸のうち、374戸が耐用年数を超えている。	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
管理不全空家の増加は、安全性・公衆衛生・景観の悪化等、生活環境に影響を及ぼす可能性がある。	安全安心な住環境の実現		中	1
老朽化していく市営住宅を適切に維持管理していく必要がある。	適正な市営住宅ストックの実現		中	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
		R3	R4	R5		
(7) 空き家バンク登録件数の増加	14 (H29)	90	110	130	150 (R6)	件
(4)	()				()	
(5)	()				()	

上段：目標値
中段：実績値
下段：達成率

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	R3年度	240,805				
	R4年度	53,962				
	R3年度	118,962				
	R4年度	33,969				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R3 当初予算額	R4 当初予算額
				R3 決算額	R4 決算額
1-1	8・6・1 空き家対策事業	住宅課	2.00	30,244	36,782
1-2	8・6・1 住宅指導事務	住宅課	2.00	4,343	3,728
2-1	8・6・2 市営住宅建設事業	住宅課	1.00	206,218	78,452
合計			5.00	240,805	118,962

7 R4事業費の分析（差額＝「R4年度当初予算額」－「R4年度決算額」）			
差額		分析	
8 R4 成果指標の分析（成果指標の平均達成率）			
平均達成率		分析	
9 取組の分析			
区分	分析ポイント	概要	
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載	
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。		
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。		
10 総合評価			
総合評価		<総評>	
11 今後の課題及び取組方針			
課題		課題を踏まえた今後の取組方針	

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	1 暮らしを支える拠点地区の充実	② 住環境の整備・保全

事業の概要										
戦略	1 安全安心な住環境の実現	予算	40,510 千円	前年度 34,587 千円						
事務事業	1-1 空き家対策事業	予算	36,782 千円	前年度 30,244 千円						
内容										
1-1_空き家対策の推進										
<p>空き家の増加を抑制し、管理不全の空き家を減少させるため、空き家の状態に応じ、総合的な空き家対策を推進する。</p> <table border="1"> <tr> <td>空き家数</td> <td>3,760 軒</td> <td>(平成 29 年度調査)</td> </tr> <tr> <td>空き家バンク登録数</td> <td>117 件</td> <td>(令和 3 年 10 月末時)</td> </tr> </table> <p>① 空き家の利活用の推進 (16,600 千円 (前年度 14,100 千円))</p> <p>補助金の助成により空き家の利用活用を推進する。</p> <p>ア 相続登記に係る費用の助成 (見込数 10 件、補助率 1/3 又は上限 10 万円)</p> <p>イ 改修費用の助成 (見込数 15 件、補助率 1/3 又は上限 50 万円)</p> <p>ウ 空き家に残った家財道具の処分費の助成 (見込数 15 件、補助金額 10 万円 最大 15 万円まで)</p> <p>エ 地域活性化に寄与する空き家利活用のための取得・改修費用の助成 (見込数 2 件、国庫補助、補助率 2/3 又は上限 300 万円)</p> <p>オ 補助制度や空き家の利活用を促進するため、FMラジオ等のメディアの活用や定住サポートセンターとの連携により広く情報発信する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>交流スペース</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>作業スペース</p> </div> </div> <p>< 空き家対策事業費補助金を活用した改修事例 ></p> <p>② 空き家の発生抑制、適正管理、除却等の推進 (10,000 千円 (前年度 5,000 千円))</p> <p>補助金の助成により空き家の除却を推進する。</p> <p>ア 老朽空家の解体費用の助成 (見込数 20 件、補助率 1/3 又は上限 50 万円)</p> <p>イ 啓発用チラシ送付等を行い、空き家の適正管理、除却等を促進する。</p> <p>ウ 納税義務者に送付する納税通知書に、「啓発用チラシ」を同封し送付する。</p> <p>エ 移住・定住の施策と連携した空き家の利活用、及び空き家の発生を抑制するための施策を検討する。</p>					空き家数	3,760 軒	(平成 29 年度調査)	空き家バンク登録数	117 件	(令和 3 年 10 月末時)
空き家数	3,760 軒	(平成 29 年度調査)								
空き家バンク登録数	117 件	(令和 3 年 10 月末時)								



<老朽危険空家事例> ※出典国土交通省HPより

③ 空家等対策計画の見直し（9,000千円（前年度0千円））

平成29年度に策定した「東広島市空家等対策計画」が令和4年度で終了するため、令和3年度に実施した「空き家実態調査」の結果を基に計画の見直しを行う。

事業の概要				
戦略	1	安全安心な住環境の実現	予算 40,510 千円	前年度 34,587 千円
事務事業	1-2	住宅指導事務	予算 3,728 千円	前年度 4,343 千円
内容				
1-2_住宅の安全性などの質の向上の推進				
安全・安心で、良好な住環境の確保を図るための住宅施策を実施する。				
① 補助金の助成により民間木造住宅の安全性を向上させる。				
(3,728 千円 (前年度 4,343 千円))				
ア 耐震診断費用の一部助成 (見込数 10 件、自己負担金 1 万円)				
イ 耐震改修に係る費用の助成				
(見込数 1 件、補助率：対象工事費の 23%又は上限 30 万円)				
ウ がけ地近接危険住宅の移転費用の助成				
(見込数 (解体・除却) 1 件、上限 97.5 万円)				
② 広島県居住支援協議会や「ひろしま住まいづくり支援ネットワーク」に参加し、住宅に関する情報についてホームページ等を活用し発信する。				

事業の概要				
戦略	2	適切な市営住宅ストックの実現	予算 78,452 千円	前年度 206,218 千円
事務事業	2-1	市営住宅建設事業	予算 78,452 千円	前年度 206,218 千円

内容

2-1_市営住宅ストックの適切な管理

長寿命化計画に基づき住宅改善・長寿命化工事等を実施する。

① 市営住宅の予防保全（68,500 千円（前年度 166,900 千円））

ア 長寿命化改修工事のための設計を実施する。（市営寺西住宅 48 戸）

イ 長寿命化改修工事を実施する。（市営磯松住宅 40 戸）



(改修前)

<老朽市営住宅事例>

(改修後)

令和 4 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	2 安全で円滑な生活交通の充実
施策の将来の目標像	市民生活の利便性を高めるため、安全で円滑な移動が確保された地域公共交通体系が確立されているとともに、生活道路網が安定的に構築・整備され、適切な維持管理がなされています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H29年度)	目標値 (R6年度)
	公共交通空白地域外の人口比率	82.7%	85.0%
	市道の整備率	57.8%	58.5%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 生活交通ネットワークの充実	主管部局・所属	地域振興部 地域政策課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市民生活の利便性を高めるため、安全で円滑な移動が確保された地域公共交通体系が確立されている	現状	地域公共交通に対する満足度が低迷している		
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.	
	地域公共交通が導入されているが利用率が低迷 地域公共交通が導入されていない空白地が存在	地域運行主体を明確にした 持続可能な移動手段の導入・維持・転換	中	1	

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R3	R4	R5		
(7) 地域公共交通の展開数	4 (H30)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	5	5	7	7 (R6)	地域
(4)	()					()	
(5)	()					()	

5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R 3 年度		65,191				
		38,793				
R 4 年度		71,155				
		35,651				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R3 当初予算額	R4 当初予算額
				R3 決算額	R4 決算額
1-1	2・1・7 地域公共交通対策事業	地域政策課	2.00	65,191	71,155
合計			2.00	65,191	71,155

7 R4事業費の分析（差額＝「R4年度当初予算額」－「R4年度決算額」）			
差額		分析	
8 R4 成果指標の分析（成果指標の平均達成率）			
平均達成率		分析	
9 取組の分析			
区分	分析ポイント	概要	
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載	
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。		
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。		
10 総合評価			
総合評価		<総評>	
11 今後の課題及び取組方針			
課題		課題を踏まえた今後の取組方針	

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	2 安全で円滑な生活交通の充実	① 生活交通ネットワークの充実

事業の概要			
戦略	1 地域運行主体を明確にした持続可能な移動手段の導入・維持・転換	予算 71,155 千円	前年度 65,191 千円
事務事業	1-1 地域公共交通対策事業	予算 71,155 千円	前年度 65,191 千円

内容

1-1_地域公共交通の取組み

① コミュニティバスの運行 (59,755 千円 (前年度 60,815 千円))

ア 豊栄そよかぜ号、安芸津海風バス、河内あゆピチふれあい号運行委託 (うち 44,760 千円)

公共交通空白地域の解消及び市民の移動手段の確保を図るため、豊栄、河内、安芸津地域でコミュニティバスを運行する。

コミュニティバス名	運行開始日	運行概要
豊栄そよかぜ号	H21. 2. 1	5 路線 23 系統、週 2 日、1 日 4~8 便
安芸津海風バス	H21. 4. 1	3 路線 8 系統、週 2・4 日、1 日 4 便
河内あゆピチふれあい号	H22. 11. 1	1 路線 5 系統、週 2 日 (一部月~金)、1 日 4~7 便

イ 地域が主体となった運行への支援 (うち 14,995 千円)

地域が運行主体である黒瀬さくらバス、入野デマンドの支援を行う。

コミュニティバス名	運行開始日	運行主体	運行概要
黒瀬さくらバス	H26. 6. 23	黒瀬さくらバス 運行協議会	6 路線 6 系統、週 2 日、 1 日 4 便
入野デマンド交通	R1. 11. 11	入野自治組織笹の郷	3 地区、週 3 日、4~6 便/日

② 交通空白地の解消に向けた取組み (10, 489 千円 (前年度 3, 637 千円))

【新】ア 地域が主体となった公共交通導入への支援 (モビリティ・マネジメントの推進) (うち 10,226 千円)

地域が主体となった運行準備組織の設立を見込む地域 (「志和地域」「小谷地域」) を対象に、移動実態調査、潜在需要の掘り起こし、運行計画、実証運行に係る経費の支援など、運行組織への伴走支援を行う。

モビリティ・マネジメント
過度な自動車利用から、公共交通・自転車等を適切に利用する方向に自発的な変化を促す、コミュニケーションを中心とした交通施策。

事業の概要

③ 地域公共交通会議の運営（911 千円（前年度 739 千円））

地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するため、道路運送法及び地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の規定に基づく地域公共交通会議の運営事務を行う。

令和 4 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	2 安全で円滑な生活交通の充実
施策の将来の目標像	市民生活の利便性を高めるため、安全で円滑な移動が確保された地域公共交通体系が確立されているとともに、生活道路網が安定的に構築・整備され、適切な維持管理がなされています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H29年度)	目標値 (R6年度)
	公共交通空白地域外の人口比率	82.7%	85.0%
	市道の整備率	57.8%	58.5%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 市道、街路、国県道の整備・保全	主管部局・所属	建設部 道路建設課
関係部局・所属	建設部	道路建設課	建設部 維持課
	建設部	建設管理課	都市部 都市計画課
	都市部	都市整備課	

3 目指す姿と戦略

目指す姿	地域の实情に合わせた道路交通網の構築や、道路構造物の定期的な点検に基づく予防保全により、交通の利便性及び安全性の向上を図る。	現状	生活に身近な道路交通網の構築が求められており、また、道路環境が十分に整っていない箇所がある。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
老朽化していく道路等を適正に維持管理していく必要がある。	橋梁等道路施設の長寿命化		高	1
市街地内の良好な道路の骨格が十分でない。	都市計画道路の整備促進		高	2
老朽化していく道路等を適正に維持管理していく必要がある。	市道、その他市管理道路及び県道維持受託路線の維持修繕		中	3
国、県道を補完する道路網の構築が十分でない。安心・安全な自転車通行空間が十分に確保されていない。	都市計画道路以外の幹線市道の整備		中	4
地域生活に必要な国、県道の整備が十分でない。	県が整備する道路事業の促進		低	5
安全性や利便性を確保する生活に身近な道路が十分に確保されていない。	生活道路における緊急自動車等の安全な通行空間の整備		低	6

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R3	R4	R5		
(7) 道路橋の補修数	0 (R2)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	35	30	27	131 (R8)	橋
(4) 市道(街路、幹線道路、生活道路)の整備率	0 (H30)		21	46	82	100 (R6)	%
(4)	()					()	

5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 (千円)	R 年 度	当初予算額	決算額	人件費
		一般財源	一般財源	
	R 3 年 度	3,602,780		
		1,595,795		
	R 4 年 度	4,149,033		
		2,048,806		

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R3 当初予算額	R4 当初予算額
				R3 決算額	R4 決算額
1-1	8・2・2 橋梁長期保全事業	維持課	2.50	334,887	736,040
2-1	8・5・2 街路整備事業	都市整備課	3.00	1,205,390	876,136
3-1	8・2・2 道路維持修繕事業	維持課	9.50	1,223,898	1,384,030
3-2	8・2・2 県道維持事業	維持課	2.00	172,361	172,361
4-1	8・2・3 幹線市道整備事業	道路建設課	5.20	390,652	758,607
5-1	8・5・1 国・県道路整備事業	都市計画課	1.00	14,000	19,500
6-1	8・2・3 生活市道整備事業	道路建設課	3.10	261,592	202,359
合計			26.30	3,602,780	4,149,033

7 R4事業費の分析（差額＝「R4年度当初予算額」－「R4年度決算額」）		
差額	分析	
8 R4 成果指標の分析（成果指標の平均達成率）		
平均達成率	分析	
9 取組の分析		
区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	
10 総合評価		
総合評価	<総評>	
11 今後の課題及び取組方針		
課題		課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

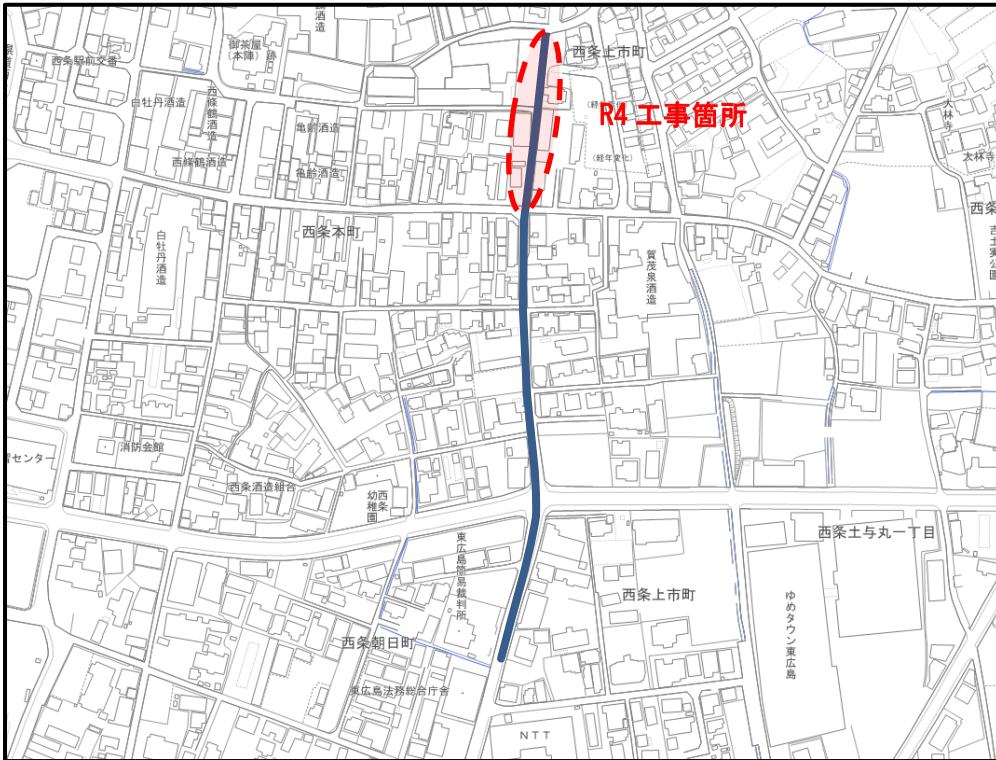
まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	2 安全で円滑な生活交通の充実	② 市道、街路、国県道の整備・保全

事業の概要				
戦略	1 橋梁等道路施設の長寿命化	予算	736,040 千円	前年度 334,887 千円
事務事業	1-1 橋梁長期保全事業	予算	736,040 千円	前年度 334,887 千円
内容				
1-1_橋梁等道路施設の長寿命化				
健全度Ⅲの橋梁について、早期に補修工事を行うことにより、橋梁の長寿命化を図るとともに、定期点検を行い道路網の安全性を確保する。				
① 道路橋の点検 (93,000 千円 (前年度 33,000 千円))				
道路法認定道路橋の定期点検				
ア 認定道路橋定期点検		251 橋 (うち 88,000 千円)		
イ 跨線橋点検		1 橋 (うち 5,000 千円)		
② 道路橋補修設計 (11,000 千円 (前年度 17,250 千円))				
補修設計を行い補修に着手				
ア 補修設計		4 橋		
③ 道路橋補修 (622,200 千円 (前年度 283,800 千円))				
道路法認定道路橋の補修実施				
ア 御建跨線道路橋補修工事委託		1 橋 (うち 245,000 千円)		
イ 本町上寺家線 1 号橋ほか 12 橋補修工事		13 橋 (うち 352,200 千円)		
ウ 小規模橋梁補修業務委託		25 橋 (うち 25,000 千円)		
④ アセットマネジメントシステム利用料等 (9,840 千円 (前年度 837 千円))				

事業の概要				
戦略	2 都市計画道路の整備促進	予算	876,136 千円	前年度 1,205,390 千円
事務事業	2-1 街路整備事業	予算	876,136 千円	前年度 1,205,390 千円
内容				
2-1_都市計画道路の整備促進				
都市の骨格となる道路ネットワークの形成に向けた都市計画道路の整備を促進する。				
① 都市計画道路の整備 (876,136 千円 (前年度 1,205,390 千円))				
ア 西条中央巡回線 (寺家工区) [事業延長 590m、幅員 17m]		(うち 41,951 千円)		
道路改良工事				

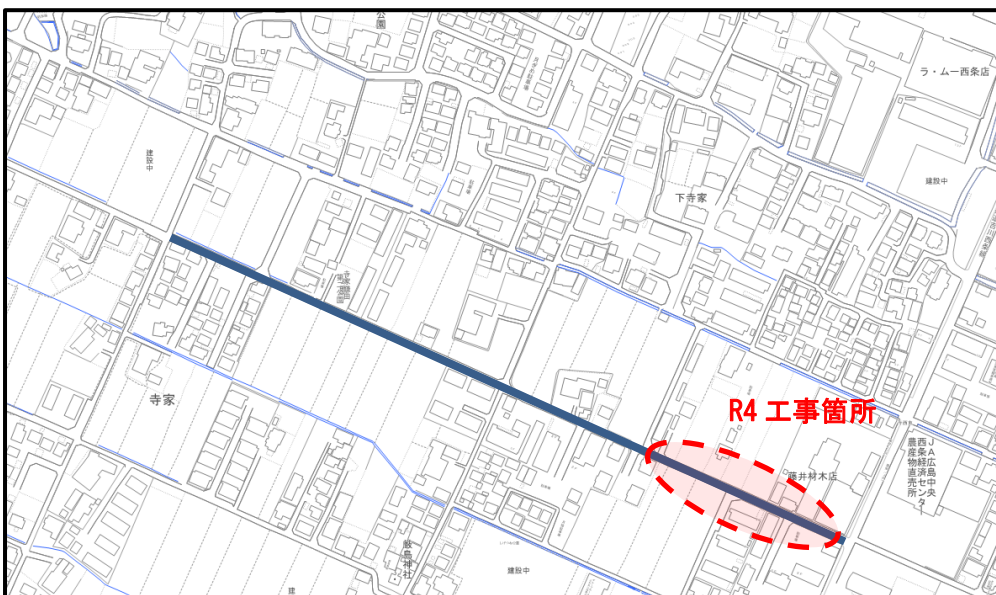
事業の概要

- イ 吉行泉線（2工区）[事業延長460m、幅員14m]（うち235,727千円）
道路改良工事、用地取得、物件移転補償、埋蔵文化財調査



- ウ 丸山檜原線（1工区、2工区）[事業延長800m、幅員16m]
（うち128,638千円）
道路改良工事

- エ 寺家中央線（1工区）[事業延長580m、幅員17m]（うち392,695千円）
道路改良工事、用地取得、物件移転補償



- オ 中島線 [事業延長354m、幅員9.25m]（うち77,125千円）
道路改良工事、設計業務、用地取得、物件移転補償

事業の概要			
戦略	3 市道、その他市管理道路及び県道移譲路線の維持修繕	予算 1,556,391 千円	前年度 1,396,259 千円
事務事業	3-1 道路維持修繕事業	予算 1,384,030 千円	前年度 1,223,898 千円

内容

3-1_市道、その他の市管理道路の維持修繕

道路を常時良好な状態に保つよう維持し、一般交通に支障を及ぼさないようにする。

- ① 道路の維持修繕（885,408 千円（前年度 722,250 千円））
 - ア 年間委託による維持修繕：19 地区（うち 438,000 千円）
 - イ 工事発注による維持修繕：3 件（うち 156,000 千円）
 - ウ 委託による街路樹の育成管理：4 件（うち 100,000 千円）
 - エ 委託による除草伐木：105 件（うち 191,408 千円）
- ② 舗装の修繕（317,480 千円（前年度 271,120 千円））
 - 舗装修繕実施計画に基づく修繕：7 路線
 - 計画路線：下野原線：L=720m、W=7.0m

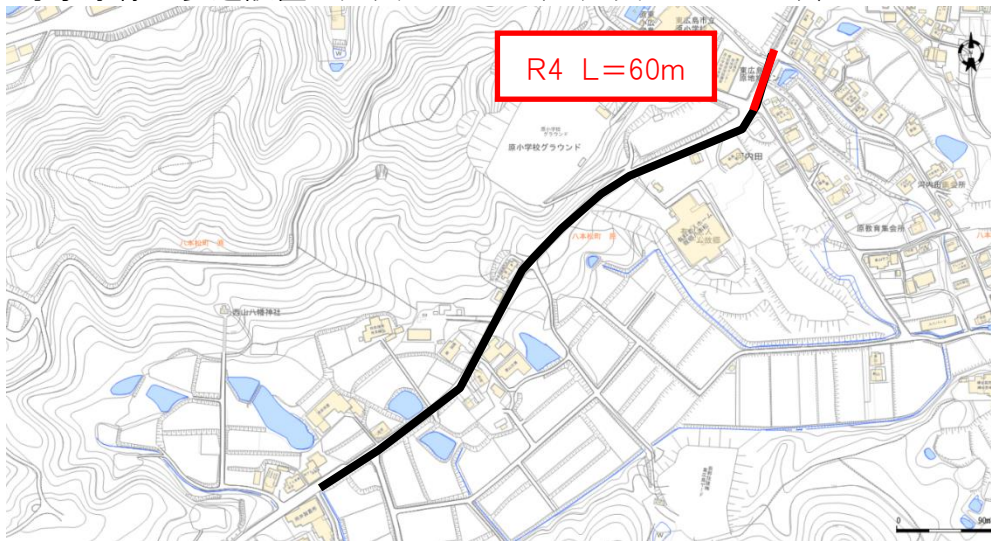


- ③ 交通安全施設の整備（91,650 千円（前年度 155,510 千円））
 - ア 歩道整備（うち 81,650 千円）
 - (7) 測量設計：2 件（2,050 千円）
 - (4) 工事：3 件（79,600 千円）
 - イ 区画線等施設整備：市内全域（うち 10,000 千円）
 - 中島白市線 歩道橋設置：延長 L=15m、幅員 W=2.0m、上部工

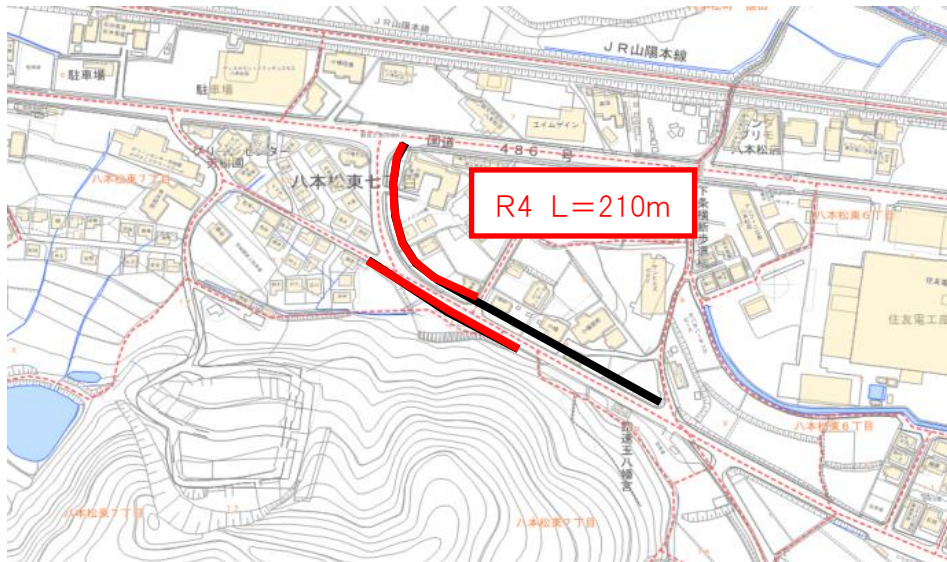


事業の概要

○寺家原線 歩道設置：延長 L=60m（全延長 L =540m）、W=2.0m



○八本松工業団地線 歩道設置：延長 L=210m（全延長 L =350m）、幅員 W=2.0m



- ④ 道路維持管理作業報奨金（21,243 千円（前年度 21,243 千円））
- ⑤ 維持管理作業用原材料費（68,249 千円（前年度 53,775 千円））

事業の概要			
戦略	3	市道、その他市管理道路及び県道移譲路線の維持修繕	予算 1,556,391 千円 前年度 1,396,259 千円
事務事業	3-2	県道維持事業	予算 172,361 千円 前年度 172,361 千円
内容			
3-2_県道移譲路線の維持修繕 県から移譲された県道を維持し、一般交通に支障を及ぼさないようにする。 ① 移譲対象 31 路線の維持修繕 (172,361 千円 (前年度 172,361 千円)) 年間委託による維持修繕			

事業の概要			
戦略	4	都市計画道路以外の幹線市道の整備	予算 758,607 千円 前年度 390,652 千円
事務事業	4-1	幹線市道整備事業	予算 758,607 千円 前年度 390,652 千円
内容			
4-1_幹線道路の整備 国、県道を補完して道路交通網を充実させる幹線道路の整備を促進する。 ① 道路改良工事を行う路線 (350,000 千円 (前年度 118,600 千円)) 飯田工業団地線ほか 6 路線 [事業延長 5,670m] ② 業務委託 (203,427 千円 (前年度 163,000 千円)) ア 正力西 1 号線 ((仮称) 八本松スマート IC 関連事業) [事業延長 400m] (うち 12,000 千円) 補償調査 イ その他測量設計、用地測量、補償調査を行う路線 (うち 143,000 千円) 椀坂志和西線ほか 6 路線 [事業延長 7,300m] 【新】ウ 交通渋滞調査 (うち 20,000 千円) 交通実態の特性や課題の分析、施策の基本方針 エ 自転車活用推進計画策定 [市内一円] (うち 9,427 千円) 自転車活用の推進と利用環境の課題分析 オ 道路整備計画策定 [市内一円] (うち 19,000 千円) 道路整備計画の見直し ③ 用地取得、物件補償を行う路線 (205,180 千円 (前年度 109,052 千円)) ア 土与丸御園宇線 (道照交差点改良関連事業) [事業延長 200m、幅員 9.5m] (うち 17,500 千円) 用地取得、物件補償 イ その他用地取得、物件補償を行う路線 (うち、187,680 千円) 武士郷曾線ほか 7 路線 [事業延長 5,060m]			

事業の概要				
戦略	5	県が整備する道路事業の促進	予算 19,500 千円	前年度 14,000 千円
事務事業	5-1	国・県道路整備事業	予算 19,500 千円	前年度 14,000 千円
内容				
<p>5-1_国・県道路整備の促進</p> <p>安全で安心な移動空間を確保するため、広島県が事業を行う地域の生活に必要な道路整備を促進する。</p> <p>① 県が整備する国県道に係る整備費の一部を、県条例の規定により負担 (19,500 千円 (前年度 14,000 千円))</p> <p>東広島向原線 (正力地区) ほか 6 路線</p>				

事業の概要				
戦略	6	生活道路における緊急自動車等の安全な通行空間の整備	予算 202,359 千円	前年度 261,592 千円
事務事業	6-1	生活市道整備事業	予算 202,359 千円	前年度 261,592 千円
内容				
<p>6-1_生活道路の整備</p> <p>日常生活において集落等を連絡する生活道路の整備を促進する。</p> <p>① 道路改良工事を行う路線 (175,000 千円 (前年度 131,000 千円)) 道面郷線ほか 4 路線 [事業延長 1,730m]</p> <p>② 業務委託 (測量設計、用地測量、補償調査) を行う路線 (20,000 千円 (前年度 59,000 千円)) 見土路従線ほか 3 路線 [事業延長 370m]</p> <p>③ 物件補償を行う路線 (7,359 千円 (前年度 71,592 千円)) 小谷 1 4 号線ほか 3 路線 [事業延長 1,500m]</p>				

令和 4 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	3 快適な生活環境の形成
施策の将来の目標像	一般廃棄物の減量化と資源化等により循環型社会が構築されるとともに、市民の生活に不可欠な水の提供や公共用水域の水質保全による安全で快適な生活基盤・環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
	市民一人1日当たりのごみ排出量	986g	850g
	汚水処理人口普及率	86.1%	91.9%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 循環型社会の構築	主管部局・所属	生活環境部 廃棄物対策課
関係部局・所属	生活環境部	市民生活課	生活環境部 環境先進都市推進課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	3R活動を推進し、高効率発電によるごみのエネルギー化を進めるとともに、最終処分場が不要なごみ処理システムの導入により、循環型社会の構築を目指す。	現状	①ごみ量が減らない。 ②資源化率が上がらない。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
市の責務である一般廃棄物を適正に処理する必要がある。	一般廃棄物の適正処理		高	1
一人1日当たりのごみ量が県内他市と比して多い。	一般廃棄物の減量化の推進		中	2
分別収集を徹底しているが資源化率が上がらない。	資源化の促進		低	3

4 成果指標

成果指標		初期値 (年度)	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R3	R4	R5		
(7)	市民一人1日当たりのごみ排出量	986 (H30) マイナス指標設定	924	895	867	850 (R6)	g
(4)	資源化率	10 (R1)	17	24	26	27 (R6)	%
(5)		()				()	

5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 (千円)	R 年 度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	3		1,254,533			
			1,240,854			
	4		1,360,878			
			1,341,237			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R3 当初予算額	R4 当初予算額
				R3 決算額	R4 決算額
1-1	4・2・2 一般廃棄物適正処理事業	廃棄物対策課	5.50	1,150,445	1,226,117
1-2	4・1・4 環境美化及び保護事業	廃棄物対策課	1.60	38,470	43,554
2-1	4・2・2 一般廃棄物減量化推進事業	廃棄物対策課	3.00	18,874	10,452
2-2	2・1・12 食品ロス削減推進事業	市民生活課	0.30	3,012	2,964
3-1	4・2・2 資源化促進事業	廃棄物対策課	3.00	43,732	77,791
合計			13.40	1,254,533	1,360,878

7 R4事業費の分析（差額＝「R4年度当初予算額」－「R4年度決算額」）		
差額	分析	
8 R4 成果指標の分析（成果指標の平均達成率）		
平均達成率	分析	
9 取組の分析		
区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	
10 総合評価		
総合評価	<総評>	
11 今後の課題及び取組方針		
課題		課題を踏まえた今後の取組方針


概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	3 快適な生活環境の形成	① 循環型社会の構築

事業の概要				
戦略	1	一般廃棄物の適正処理	予算 1,269,671 千円	前年度 1,188,915 千円
事務事業	1-1	一般廃棄物適正処理事業	予算 1,226,117 千円	前年度 1,150,445 千円
内容				
1-1_一般廃棄物の適正処理				
① ごみ出し支援（うち 34,024 千円（前年度 32,192 千円））				
ア ごみ指定袋の無料交付				
イ ふれあい収集の実施				
ウ ライター・電池の拠点回収				
エ ごみステーション収集用ボックス等整備補助				
		区 分	補助率	補助限度額
		ごみ収集用ボックス	2 分の 1	20 万円
		ごみ散乱防止用ネット	3 分の 2	5 万円
② ごみの適正収集（うち 1,168,379 千円（前年度 1,092,398 千円））				
ア 家庭系ごみの収集				
(ア) 市内約 2,900 か所のごみステーションからのごみを収集、運搬				
(イ) ごみ指定袋・処理券等の作成、販売				
イ 一般廃棄物適正排出指導の実施				
(ア) 適正排出指導員を 2 人配置				
(イ) ごみの適正排出を指導				
【拡】ウ 災害廃棄物処理計画の改訂				
③ ごみの分別・収集方法の啓発（うち 198 千円（前年度 15,455 千円））				
ア SNS を活用したごみ出しの啓発				
イ ごみの分別・出し方等に対する市民アンケートの実施				
ウ 事業系アパート・マンション向けごみ出しチラシの配布				
エ 事業系ごみの分別の見直し検討				
④ 液状一般廃棄物の収集支援（うち 23,516 千円（前年度 10,400 千円））				
ア 安芸津地域の液状一般廃棄物収集業者への補助				
補助額：収集量 1 リットルあたり 4 円（市民の負担軽減）				

事業の概要					
戦略	1	一般廃棄物の適正処理	予算	1,269,671 千円	前年度 1,188,915 千円
事務事業	1-2	環境美化及び保護事業	予算	43,554 千円	前年度 38,470 千円
内容					
1-2_環境美化及び保護への取組み					
① 環境美化活動（うち 1,582 千円（前年度 2,087 千円））					
ア きれいなまちづくりキャンペーンの実施					
イ 環境美化強化地域の清掃 清掃地域：9 地域					
② 不法投棄防止活動（うち 35,829 千円（前年度 30,261 千円））					
ア 不法投棄防止看板の製作 看板：280 枚					
イ 不法投棄パトロール及び不法投棄ごみの回収					
市内を 4 ブロックに分け不法投棄の監視パトロール及び不法投棄ごみの回収を行う。					
・ごみ回収量：R2 年度 100 t、回収箇所数：R2 年度 629 か所					
・老朽車両の更新：1 台					
ウ 不法投棄ごみの処理					
広島中央環境衛生組合で処理できない処理困難物の処理を行う。					
処分量：R2 年度（家電 4 品目 181 台、タイヤ 329 本等）					
エ 不法投棄されない環境づくり					
(7) 監視カメラの設置					
R2 年度（固定式 7 か所、重点路線 3 路線、小型カメラ 7 か所）					
(イ) 不法投棄防止フェンスの設置					
設置延長 150m					
③ 公衆衛生推進団体の育成支援（うち 6,143 千円（前年度 6,122 千円））					
環境と健康をコミュニティで守るために組織された公衆衛生推進協議会の育成・支援を行う。					
ア 地域活動費補助					
イ 環境活動費補助					
環境保全監視員 94 名により不法投棄監視パトロール及びごみの収集を行う。					

事業の概要					
戦略	2	一般廃棄物の減量化の推進	予算	13,416 千円	前年度 21,886 千円
事務事業	2-1	一般廃棄物減量化推進事業	予算	10,452 千円	前年度 18,874 千円
内容					
2-1_一般廃棄物の減量化の推進					
① ごみの減量化の促進（うち 7,559 千円（前年度 16,627 千円））					
ア 生ごみ水切りグッズの配布 希望する市民に「生ごみ水切り器」「水切り紙袋」を配布する。					
イ ごみの減量化に関するコンテストの開催 ごみ減量化に関するコンテスト（標語・イラスト等）を開催する。					
ウ 啓発活動の実施					
(ア) ごみ減量化に係る啓発広告の掲載					
(イ) 広報紙、FM 東広島等を活用した広報活動					
エ ごみ減量出前講座の開催 3R、広島中央エコパーク、新しいごみ分別種等に関する講座を開催する。					
オ 生ごみ処理容器等の購入費補助・貸出し					
(ア) 生ごみ処理容器等の購入費用の一部を補助					
区 分			補助率	補助限度額	
コンポスト容器(90 基分)、ミミズコンポスト容器(1 基分)、EM 菌処理容器(14 基分)			3 分の 2	5,000 円	
電気式処理機(101 基分)、小型剪定枝破碎機(13 基分)			2 分の 1	30,000 円	
(イ) 生ごみ処理容器の貸出し					
② 一般廃棄物の分析調査（うち 2,893 千円（前年度 2,247 千円））					
ア 家庭系ごみ・事業系ごみのごみ質の分析 家庭系ごみ、事業系ごみそれぞれのごみ質の分析（組成分析）を実施する。					

事業の概要					
戦略	2	一般廃棄物の減量化の推進	予算	13,416 千円	前年度 21,886 千円
事務事業	2-2	食品ロス削減推進事業	予算	2,964 千円	前年度 3,012 千円
内容					
2-2_食品ロス削減の推進					
① 食品ロス削減啓発の取組み（うち 2,614 千円（前年度 2,668 千円））					
ア 食品ロスゼロ運動の実施					
食品ロス削減に係る標語等の募集及びパンフレットの配布等を行う。					
					
(R3 食品ロス削減標語表彰式)					
イ 食品ロス削減イベントの実施					
食品ロス削減啓発に係る映画上映会を開催する。					
ウ 食品ロス削減協力店への取組					
食品ロス削減に係る啓発グッズやポスターを配付する。					
② フードドライブの実施（うち 350 千円（前年度 344 千円））					
ア フードドライブ事業の実施					
食品ロスとなりうる食品を回収し、福祉施設等に分配するフードドライブ事業を実施する。					

令和 4 年度 目的別事業群総括管理（ 予算 ）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	3 快適な生活環境の形成
施策の将来の目標像	一般廃棄物の減量化と資源化推進等により循環型社会が構築されるとともに、市民の生活に不可欠な安全な水の提供や、公共用水域の水質保全による安全で快適な生活基盤・環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値（H30年度）	目標値（R6年度）
	市民一人1日当たりのごみ排出量	986g	850g
	汚水処理人口普及率	86.1%	91.9%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 水の安定供給	主管部局・所属	水道局 業務課
関係部局・所属	水道局 工務課	地域振興部	豊栄支所地域振興課
	水道局 給水課	地域振興部	河内支所地域振興課
	生活環境部 環境先進都市推進課		

3 目指す姿と戦略

目指す姿	安全で良質な水を安定的に供給する。	現状	現状は安定供給できているが将来に向けて多くの課題がある。	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	永続的に良質な水を安定供給するため、水質管理及び施設の維持管理の徹底と水道施設や管路の整備更新、耐震化を計画的に進める必要がある。	水道事業の推進	中	1
	専用水道及び飲料水供給施設の持続可能性を確保する必要がある。	専用水道施設及び飲料水供給施設の維持管理	中	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R3	R4	R5		
(ア) 水道管路の耐震化率	11.2 (H30)	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率	13.3	14.4	15.5	16.7 (R6)	%
(イ)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費（千円）	一般会計	R3年度		R4年度		
		当初予算額	決算額	当初予算額	決算額	
目的別事業群事業費（千円）	一般会計	事業費	22,156		12,115	
		一般財源	20,125		10,004	
		人件費	R3年度		R4年度	
	公営企業会計	R3年度		R4年度		
		当初予算額	決算額	当初予算額	決算額	
		収益的収入	5,211,863		5,128,639	
		収益的支出	4,816,628		4,841,965	
		差引	395,235		286,674	
		当年度純利益(又は純損失)	306,461		121,349	
		資本的収入	148,082		815,318	
		資本的支出	1,474,384		2,369,011	
	差引	△ 1,326,302		△ 1,553,693		
		人件費	R3年度		R4年度	

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	3 快適な生活環境の形成	② 水の安定供給

事業の概要					
戦略	1	水道事業の推進	予算	7,210,976 千円	前年度 6,291,012 千円
事務事業	1-1	水道事業【水道事業】	予算	7,210,976 千円	前年度 6,291,012 千円
内容					
1-1_安全・安心な水道水の安定供給					
<p>水道は市民生活に欠かすことのできないライフラインである。そのため、「安全」「強靱」「持続」の観点から、水質管理及び施設の維持管理を徹底し、水道施設の整備、更新及び耐震化を着実に実施するとともに、経営基盤の強化を図ることにより、安全で良質な水を安定的に供給する。</p>					
① 水道施設の整備・更新・強靱化					
<p>要望に基づき、真に給水を必要としている地域の配水管整備を行うほか、計画に基づき水道管をはじめとした水道施設の更新及び耐震化を進める。</p>					
ア 第6期拡張事業（H29～R12）					
全体概算事業費：5,906,146 千円（うち 662,702 千円）					
(ア) 上水道拡張工事（配水管布設等） 606,495 千円					
(イ) 配水管測量設計業務等 56,207 千円					
【活動指標】					
上水道拡張工事：9 地域					
イ 管路更新計画（H24～R10）					
全体概算事業費：5,160,542 千円（うち 480,506 千円）					
(ア) 管路更新（耐震化）工事（配水管布設替） 313,768 千円					
(イ) 配水管布設替測量設計業務等 131,362 千円					
【新】(ウ) 配水管布設替工事監督業務 35,376 千円					
【活動指標】					
管路更新（耐震化）工事：10 地域					
ウ 施設更新計画（H23～R10）					
全体概算事業費：3,360,860 千円（うち 273,889 千円）					
(ア) 配水池耐震補強・防水補修工事 99,539 千円					
(イ) ポンプ所電気・機械設備工事 154,000 千円					
(ウ) 配水池等耐震診断調査業務 20,350 千円					
【活動指標】					
配水池耐震補強・防水補修工事：2 箇所					

事業の概要

エ 設備更新計画 (R2~R32)

全体概算事業費：12,319,125 千円 (うち 115,800 千円)

(ア) 水道施設設備更新実施設計業務(電気・機械・計装) 19,800 千円

(イ) 水道施設設備更新工事(電気・機械・計装) 96,000 千円

【活動指標】

設備更新工事：2 箇所

② 安全な飲料水の確保

安全で良質な水を安定的に供給するという水道事業の使命を果たすべく、水質管理の徹底、水質異常の早期発見に努めるとともに、施設の適正な維持管理を行う。

ア 水質検査業務、管末水質監視業務、水源監視業務 62,911 千円

イ 浄水場管理業務、巡回点検業務 15,640 千円

【新】ウ 水管橋、減圧弁点検業務 23,066 千円

③ 水道事業経営の健全化

経営基盤の強化に向け、漏水の低減に取り組むとともに、民間委託を活用するなど、効率的な経営を行い、事業の健全性を維持する。

ア 漏水調査業務 7,928 千円

イ 水道施設維持管理等業務 30,360 千円

【拡】ウ 水道料金等徴収業務 168,056 千円

事業の概要				
戦略	2	専用水道施設及び飲料水供給施設の維持管理	予算 12,115 千円	前年度 22,156 千円
事務事業	2-1	専用水道等運営事業	予算 12,115 千円	前年度 22,156 千円
内容				
2-1_専用水道施設及び飲料水供給施設の維持管理				
<p>① 専用水道等運営事業の推進（12,115 千円（前年度 22,156 千円））</p> <p>豊栄中央住宅団地専用水道施設及び河内町大仙地区飲料水供給施設について適切に維持管理を行い、安全で良質な水を安定的に供給する。</p> <p>ア 豊栄中央住宅団地専用水道施設の管理運営（7,602 千円）</p> <p>(ア) 水道局委任事務（維持管理業務、水道使用料徴収事務）</p> <p>(イ) 水質検査業務</p> <p>(ロ) 受水槽、浄水設備施設管理業務</p> <p>(ハ) 水道施設の毎日水質検査、毎日施設点検業務</p> <p>(ニ) 消耗品費、光熱水費、通信運搬費、修繕料等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鍛冶屋浄水施設滅菌設備修繕、清武・鍛冶屋受水槽修繕 <p>イ 河内町大仙地区飲料水供給施設の管理運営（4,513 千円）</p> <p>(ア) 水道局委任事務（維持管理業務、水道使用料徴収事務）</p> <p>(イ) 水質検査業務</p> <p>(ロ) 受水槽、浄水設備施設管理業務</p> <p>(ハ) 水道施設の毎日水質検査、毎日施設点検業務</p> <p>(ニ) 消耗品費、光熱水費、通信運搬費、修繕料等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大仙配水池ポンプ修繕 				

令和 4 年度 目的別事業群総括管理（ 予算 ）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	3 快適な生活環境の形成
施策の将来の目標像	一般廃棄物の減量化と資源化推進等により循環型社会が構築されるとともに、市民の生活に不可欠な安全な水の提供や、公共用水域の水質保全による安全で快適な生活基盤・環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値（H30年度）	目標値（R6年度）
	市民一人1日当たりのごみ排出量	986g	850g
	汚水処理人口普及率	86.1%	91.9%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	③ 公共用水域の水質保全	主管部局・所属	下水道部 下水道管理課
関係部局・所属	下水道部 下水道建設課	下水道部	下水道施設課
	生活環境部 環境先進都市推進課	地域振興部	河内支所地域振興課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市域の汚水を適正に処理し、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図る。	現状	東広島市汚水適正処理構想に基づき、下水道整備事業及び小型浄化槽設置整備事業を進めているが、みなし浄化槽・くみ取り槽の件数が多数残り、生活雑排水が未処理のまま公共用水域に入っている。		
課題		仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
下水道未普及地域の早期解消と今後到来する下水道処理施設等の老朽化に伴う改築需要の増加に対応していく必要がある。		下水道事業の推進		中	1
下水道等整備区域外から発生する生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止する必要がある。		浄化槽設置整備の促進		中	2
河内町小田地区に設置した特定地域生活排水処理施設を適切に管理する必要がある。		特定地域生活排水処理施設の運営管理		中	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R3	R4	R5		
(ア) 下水道処理人口普及率	47.2 (H30)	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率	50.2	51.3	52.3	53.4 (R6)	%
(イ) 小型浄化槽設置基数(改築分)	92 (H30)		130	130	130	130 (R6)	基
(ウ) 法定検査受検率	76.7 (H30)		77.9	78.1	78.3	78.5 (R6)	%

5 コスト情報

目的別事業群事業費(千円)	一般会計等	R3年度		R4年度					
		当初予算額		決算額		当初予算額		決算額	
		事業費	70,489			73,313			
		一般財源	16,279			19,265			
		人件費	R3年度		R4年度				
	公営企業会計	R3年度		R4年度					
		当初予算額		決算額		当初予算額		決算額	
		収益的収入	5,048,138			5,332,824			
		収益的支出	4,814,955			4,797,402			
		差引	233,183			535,422			
		年度純利益(又は純損)	8,059			236,312			
		資本的収入	4,485,667			4,645,192			
		資本的支出	5,973,565			6,203,007			
	差引	△ 1,487,898			△ 1,557,815				
	人件費	R3年度		R4年度					

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	3 快適な生活環境の形成	③ 公共用水域の水質保全

事業の概要			
戦略	1 下水道事業の推進	予算 11,000,409 千円	前年度 10,788,520 千円
事務事業	1-1 下水道事業 【下水道事業】	予算 11,000,409 千円	前年度 10,788,520 千円

内容

1-1_下水道事業の効率化、経営健全化の取組み

① 下水道経営の健全化 (1,740,332 千円 (前年度 1,730,246 千円))

下水道サービスを継続して、安定的に提供していくため、経営健全化を図る。施設の適切な維持管理、使用料の収納率向上のための滞納整理、未接続者への普及啓発活動に取り組む。

- ・ 処理場管理 (うち 1,475,535 千円)
- ・ 管渠・ポンプ場管理 (うち 168,371 千円)
- ・ 使用料徴収事務委託 (うち 84,426 千円)
- ・ 水洗便所改造資金貸付金 (うち 12,000 千円)

② 計画的、効率的な施設の建設と更新

(4,142,100 千円 (前年度 4,056,407 千円))

流入水量の増加に対応するため、引き続き東広島浄化センターの増設工事等を行う。

- ・ 東広島浄化センター増設・改築工事 (うち 1,651,700 千円)
 - ・ 東広島浄化センター改造設計業務 (うち 22,000 千円)
- 東広島浄化センター11、12 池増設の土木建築、機械電気工事等
(概算総事業費 9,920,630 千円)

	H30	R1	R2	R3	R4
基本・詳細設計					
11、12 池工事					

下水道未普及解消整備計画に基づき、未普及地域の早期解消に向けた汚水管渠建設工事等を行う。

- ・ 汚水管渠実施設計業務 (うち 170,600 千円)
- ・ 汚水管渠等建設工事 (うち 1,548,800 千円)

【活動指標】

未普及地域の管渠新設工事延長：5,755m

事業の概要

ストックマネジメント計画に基づき、下水道施設を計画的かつ効率的に管理するため、施設の更新を行う。

- ・ストックマネジメント実施設計業務 (うち 44,000 千円)
- ・ストックマネジメント工事 (うち 672,000 千円)
- ・志和堀地区農業集落排水処理施設長寿命化工事 (うち 8,000 千円)

雨天時浸入水等を防止するため、不明水対策として管更生等改築工事を行う。

- ・板城地区農業集落排水管更生等改築工事 (うち 25,000 千円)

③ 災害に強い下水道の構築 (69,000 千円 (前年度 38,000 千円))

災害を未然に防止し、被害を最小限に食い止めるため、下水道施設の耐震化を図る。

- ・黒瀬水質管理センター耐震診断業務 (うち 12,000 千円)
- ・管路施設耐震診断調査等業務 (うち 18,000 千円)

災害時の快適なトイレ環境を確保し、被災者の健康被害を抑えるため、マンホールトイレの整備を行う。

- ・マンホールトイレ設置工事 (うち 39,000 千円)

【活動指標】

設置箇所 (基数) : 5 箇所 (25 基)

事業の概要						
戦略	2	浄化槽設置整備の促進	予算	61,592 千円	前年度 59,686 千円	
事務事業	2-1	浄化槽設置整備事業	予算	61,592 千円	前年度 59,686 千円	
内容						
2-1_浄化槽設置整備の促進						
① 浄化槽設置整備の促進 (61,592 千円 (前年度 59,686 千円))						
ア 小型浄化槽設置補助 (改築) (うち 47,304 千円)						
みなし浄化槽又はくみ取り槽から合併浄化槽へ切り替える個人住宅に対し、設置費用の一部を補助する。						
浄化槽 区分	補助限 度額	予定 基数	交付見込額	国補助金 (1/2)	県補助金 (1/3)	
5人槽	332 千円	86 基	28,552 千円	14,276 千円	9,517 千円	
7人槽	414 千円	40 基	16,560 千円	8,280 千円	5,520 千円	
10人槽	548 千円	4 基	2,192 千円	1,096 千円	731 千円	
合計		130 基	47,304 千円	23,652 千円	15,768 千円	
イ みなし転換に伴う浄化槽撤去・配管工事費補助 (うち 11,700 千円)						
みなし浄化槽から合併浄化槽への切替えの場合、みなし浄化槽の撤去費用、配管工事費用の一部を補助する。						
区分	補助限度額	予定基数	交付見込額	国補助金 (1/2)		
みなし浄化槽撤去	90 千円	30 基	2,700 千円	1,350 千円		
配管工事	300 千円	30 基	9,000 千円	4,500 千円		
合計			11,700 千円	5,850 千円		
ウ 浄化槽の法定検査の受検推進等 (うち 2,588 千円)						
(7) 法定検査受検指導						
法定検査の未受検者等を対象に、受検指導を実施する。						
【拡】(イ) 浄化槽現況調査、普及啓発 (うち 1,870 千円)						
5年に1回のガイドライン検査に合わせて浄化槽の現況調査、普及啓発活動を実施する。						
【活動指標】						
法定検査受検率 : 78.1%						
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2 (速報値)
受検率 (%)	71.0	71.8	76.3	75.3	76.3	78.3

事業の概要				
戦略	3	特定地域生活排水処理施設の運営管理	予算 11,721 千円	前年度 10,803 千円
事務事業	3-1	特定地域生活排水処理施設管理事業【特排特会】	予算 11,721 千円	前年度 10,803 千円
内容				
<p>3-1_特定地域生活排水処理施設の運営管理</p> <p>① 特定地域生活排水処理施設の運営管理(11,721千円(前年度10,803千円)) 河内町小田地区に設置した特定地域生活排水処理施設を適切に運営・維持管理する。(対象132基、うち120基が稼働中、廃止3基、休止9基 ※R3.12月末時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽修繕1基 ほか 				

令和 4 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	4 豊かな自然環境の保全
施策の将来の目標像	地域の自然環境の持つ価値や機能が十分に認識され、豊かな自然環境を維持・保全することで、市民の健康で快適な暮らしが維持され、自然と調和した潤いのある社会が形成されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
	「良好な水辺環境などの水資源があるまち」として満足している市民の割合	25%	60%
	「空気のきれいさ」に対して満足している市民の割合	70%	90%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 豊かな自然環境の保全	主管部局・所属	生活環境部 環境先進都市推進課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	良好な生活環境の保全や生物多様性の維持	現状	市民の環境意識の低下への懸念	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
市街化の進展等に伴う環境悪化が懸念される		環境汚染の未然防止	高	1
犬・猫に関する苦情が多く、適正な飼養と飼主のマネー向上を図る必要がある		犬・猫の適正な飼養の促進	低	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R3	R4	R5		
(7) 環境基準達成率	86.7 (R1)		87.9	88.5	89.0	90.0 (R6)	%
(4) 狂犬病予防注射接種率	75.0 (R1)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	76.2	76.8	76.8	76.8 (R6)	%
(4)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R3年度			50,695			
			33,827			
R4年度			44,471			
			23,351			

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	4 豊かな自然環境の保全	① 豊かな自然環境の保全

事業の概要						
戦略	1	環境汚染の未然防止	予算	33,258 千円	前年度	39,795 千円
事務事業	1-1	環境保全事業	予算	33,258 千円	前年度	39,795 千円
内容						
1-1_環境汚染の未然防止						
① 環境監視による地域環境の維持・向上 (30,020 千円 (前年度 36,860 千円))						
ア 環境監視の実施 (うち 29,318 千円)						
大気・水質・騒音などの環境調査を実施し、環境を監視する。調査結果は環境白書やホームページで公表する。						
項目	内容				事業費	
公共用水域水質調査	黒瀬川や沼田川等の河川、安芸津海域及び地下水の水質調査を行う (43 地点)。				13,160 千円	
大気環境調査測定	市役所等の測定場所で大気中の汚染物質の測定を行う (13 地点)。				5,756 千円	
自動車騒音常時監視及び環境騒音調査	自動車騒音の状況を調査し、騒音公害を防止するための基礎資料とする。また、市内の騒音実態及び環境基準の達成状況を把握する。				4,370 千円	
工場排水水質検査	工場等の特定施設に立ち入り調査し、公共用水域に排出される放流水の確認や指導を行う (のべ 95 事業所)。				2,217 千円	
有害汚染物質等継続調査	廃棄物処分場跡地などの経過観察調査や公害発生のおそれのある地点の継続監視を行う (12 地点)。				2,394 千円	
臭気指数測定調査	悪臭公害防止のため、悪臭防止法に基づく測定と指導を行う。				297 千円	
イ 環境審議会の運営 (うち 702 千円)						
環境の保全や創出に関する基本的事項を調査・審議する。						
② 市民の環境意識の向上 (3,238 千円 (前年度 2,935 千円))						
ア 各種啓発活動の継続						
市民の環境保全活動への関心の低下が懸念されるため、各種啓発活動を継続して実施する。東広島環境 (環境白書) や環境活動事例集の作成、出前講座や、ひがしひろしまこどもエコ探検隊等の環境学習の機会を充実する。また Town & Gown Office (TGO) と連携し、地域の貴重な自然環境に関する情報を把握しながら、地域に広報や啓発を行う。						
(出前講座開催回数及び参加人数)						
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
開催回数 (回)	22	22	22	8	17	13
参加人数 (人)	1,061	933	788	255	644	564

事業の概要								
戦略	2	犬・猫の適正な飼養の促進	予算	11,213 千円	前年度 10,900 千円			
事務事業	2-1	狂犬病予防事業	予算	11,213 千円	前年度 10,900 千円			
内容								
2-1_犬・猫の適正な飼養の促進								
① 犬・猫の適正な飼養の促進 (11,213 千円 (前年度 10,900 千円))								
ア 狂犬病予防の推進 (うち 3,141 千円)								
<p>狂犬病予防注射接種率の向上のため、動物病院との連携、集合注射の実施、全登録者への案内通知、未受診者への督促通知、広報啓発を行う。</p> <p>(狂犬病予防注射の接種状況) (単位：件)</p>								
注射の区分	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績			
登録数	9,024	8,958	8,966	9,144	9,354			
集合注射	1,879	1,737	1,647	1,564	267			
個別注射	4,732	4,946	5,072	5,290	6,552			
注射合計	6,611	6,683	6,719	6,854	6,819			
接種率	73.3%	74.6%	74.9%	75.0%	72.9%			
イ 犬・猫など愛護動物の正しい飼い方の推進 (うち 3,479 千円)								
<p>動物愛護についての普及・啓発のため、広島県、動物愛護ボランティアとの連携によるイベントの開催、譲渡犬猫の不妊去勢手術に係る経費の補助を行う。</p> <p>(犬猫譲渡会の参加人数) (単位：人)</p>								
	H30		R1		R2		R3	
	6月	11月	6月	10月	6月	10月	6月	10月
人数	500	450	500	1,800	中止	1,100	中止	2,000
※R1. 10月 は広島県主催「どうぶつ愛護の集い」、R3. 10月 は市主催「環境フェア」と同日開催。								
【新】(7) 動物愛護教室の実施 (うち 30 千円)								
<p>動物愛護と適正飼養の普及啓発のため、小学校を対象とした動物愛護教室を実施する。</p> <p>・講師謝礼 3,000 円×2 時間×5 回</p>								
ウ 野良犬・猫対策 (うち 4,593 千円)								
(7) 野良犬対策								
<p>・広島県動物愛護センターとの連携による保護活動の実施</p> <p>・野良犬保護器の貸出しによる保護・搬送</p> <p>(保護器設置・搬送等の件数) (単位：件)</p>								
	H28	H29	H30	R1	R2			
件数	244	240	174	146	130			
(1) 野良猫対策								
<p>・広島県が推進する地域猫活動についての広報等による周知</p> <p>・地域猫活動を実施する地域と県との調整・協議</p>								

事業の概要

・地域猫活動団体への補助金交付

(地域猫活動団体申請数)

(単位：件)

	H28	H29	H30	R1	R2	計
件数	1	3	7	3	8	22

令和 4 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	5 市民協働のまちづくりによる地域力の向上
施策の将来の目標像	共通の目的の実現や地域課題の解決のため、コミュニティ活動や地域の特性を踏まえた取組みが活発に展開され、多様な市民・団体等が相互に連携・協力しながら活動、活躍することにより、地域の持つ力が向上しています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
	地域コミュニティ活動への参加率	67%	75%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 市民協働のまちづくりによる地域力の向上	主管部局・所属	地域振興部 地域づくり推進課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市民協働のまちづくりによる地域力の向上	現状	住民の地域コミュニティ活動の参加率及び住民自治協議会の認知度が低い。	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	住民自治協議会等の持続性の強化(担い手・後継者育成、加入促進等)に向けた支援が必要	住民自治協議会等の状況に応じた活動支援	高	1
	老朽化した地域センターの改修、地区拠点施設の機能向上が必要	活動拠点の充実	低	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R3	R4	R5		
(7) 地域コミュニティ活動への参加率	67.0 (H30)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	72.4	73.8	75.0	75.0 (R6)	%
(4) 住民自治協議会の認知度	65.6 (R1)		67.0	68.0	69.0	70.0 (R6)	%
(7)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R3年度		649,162				
		398,508				
R4年度		1,389,272				
		391,247				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R3 当初予算額	R4 当初予算額
				R3 決算額	R4 決算額
1-1	2・1・9 市民協働推進事業	地域づくり推進課	6.20	253,837	253,220
1-2	2・1・9 ふるさと寄附金運営事業	地域づくり推進課	1.00	198,140	308,090
2-1	2・1・9 地域活動拠点整備事業	地域づくり推進課	2.30	57,173	760,390
2-2	2・1・9 コミュニティ推進事業	地域づくり推進課	1.80	140,012	67,572
合計			11.30	649,162	1,389,272

7 R4事業費の分析（差額＝「R4年度当初予算額」－「R4年度決算額」）			
差額		分析	
8 R4 成果指標の分析（成果指標の平均達成率）			
平均達成率		分析	
9 取組の分析			
区分	分析ポイント	概要	
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載	
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。		
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。		
10 総合評価			
総合評価		<総評>	
11 今後の課題及び取組方針			
課題		課題を踏まえた今後の取組方針	

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	5 市民協働のまちづくりによる地域力の向上	① 市民協働のまちづくりによる地域力の向上

事業の概要			
戦略	1 住民自治協議会等の状況に応じた活動支援	予算 561,310 千円	前年度 451,977 千円
事務事業	1-1 市民協働推進事業	予算 253,220 千円	前年度 253,837 千円

内容

1-1_市民協働の推進

① 住民自治協議会等の持続可能な活動の支援

(190,990 千円 (前年度 196,204 千円))

市民協働のまちづくりの更なる発展を図るための具体的な施策に取り組む。

【拡】ア 地域づくり推進交付金の交付 (174,406 千円 (前年度 173,148 千円))

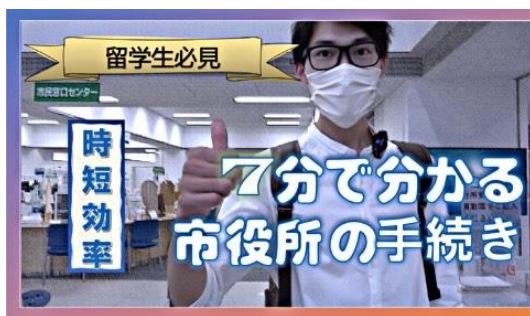
地域を代表する組織である住民自治協議会が特色あるまちづくりに取り組むことを促進するために、地域づくり推進交付金を交付する。

また、地域選択項目に外国人市民の地域参画の促進に向けて「国際交流事業」を追加する。※2-6-① 2-1 外国人市民地域参画促進事業に予算計上

イ 市民協働のまちづくり活動応援補助金の交付

(10,600 千円 (前年度 10,000 千円))

市民活動団体等が行う地域の課題解決及び魅力向上につながる公益的な活動に対し、補助金を交付することで、市民協働のまちづくりを推進する。



市民協働のまちづくり活動応援補助金 採択事業

ウ 市民協働のまちづくり講演会及び夢トークの開催

(1,362 千円 (前年度 1,056 千円))

市民協働のまちづくりの全国的な先進的な事例を学び、共有する「まちづくり講演会」に加え、市内の住民自治協議会の先進的な取り組みや課題を共有し、共に考えるためのブロック別等の意見交換会「夢トーク」を開催する。



夢トーク（豊栄地域）の様子

【新】エ 市民協働のまちづくり第4期行動計画の策定（4,622 千円）

市民協働のまちづくりの推進に向けた第4期の行動計画（令和6年度～）の策定に取り組む。

② 担い手の発掘（30,192 千円（前年度 30,698 千円））

都市地域から協力隊員を過疎地域等に呼び込み、地域の課題解決や魅力創造などの地域協力活動を行いながら、その地域への定住、定着を図る。

ア 地域おこし協力隊の配置と活動支援

(27,192 千円 (前年度 28,698 千円))

協力隊員の地域活動を伴走的に支援するとともに、任期を終える隊員の後任を配置する。

【参考】配置人数：志和町1名、豊栄町1名、河内町1名、安芸津町2名

(令和4年1月1日時点)



地域おこし協力隊の活動の様子

イ 定住のための起業等支援（3,000 千円（前年度 2,000 千円））

任期を終える隊員が定住し起業をする場合は、起業等支援補助金を交付する。

③ 地域活動団体による住民自治協議会等のサポート、連携の促進

(28,581 千円 (前年度 23,035 千円))

まちづくりの多様な担い手の活動を維持し、発展させていくため、地域活動団体による住民自治協議会等のサポートや連携を促進する。

ア 市民協働センターの管理運営 (9,243 千円 (前年度 9,078 千円))

「市民と市民」、「市民と行政」の協働の拠点として、市民活動や担い手の交流・ネットワーク作りを支援し、市民協働のまちづくりを推進する。

【拡】イ 市民協働のまちづくりを推進する人材の配置

(9,475 千円 (前年度 5,810 千円))

市民協働センター専門員を配置するとともに協働支援員を増員し、住民自治協議会や市民活動団体の活動の伴走支援や連携のコーディネートをはじめ、コミュニティビジネス等の各種相談機能等を強化する。

ウ 広島大学の学生を対象とした「まちづくり実践講座」の開講

(718 千円 (前年度 695 千円))

まちづくりの核となる学生の養成に向けて、広島大学と連携し、広島大学の1~2年生を対象に、座学とフィールドワークによる集中講座(授業)を開講する。



まちづくり実践講座(座学)の様子



まちづくり実践講座(フィールドワーク)の様子

【拡】エ 「学生協働支援隊」による地域おこしのきっかけづくり

(9,145 千円 (前年度 7,452 千円))

住民自治協議会のまちづくりに学生の力を活かすために結成した学生協働支援隊により、地域おこしのきっかけづくりに取り組む。



学生協働支援隊の活動(豊栄町安宿地区)



学生協働支援隊の活動(八本松町吉川地区)

事業の概要

④ 市民活動情報の共有の促進（1,626 千円（前年度 2,464 千円））

まちづくりの多様な担い手による活動の情報発信や情報共有を支援し、地域でのつながりや愛着を持つきっかけづくりを推進する。

ア 市民活動情報サイトの運営（1,626 千円（前年度 2,464 千円））

市民活動に係る情報サイトを引き続き運営することで、市民活動団体等の情報の発信・共有を促進する。



市民活動情報サイトすきかもトップページ

事業の概要

戦略	1 住民自治協議会等の状況に応じた活動支援	予算 561,310 千円	前年度 451,977 千円
事務事業	1-2 ふるさと寄附金運営事業	予算 308,090 千円	前年度 198,140 千円

内容

1-2_ふるさと寄附金制度の活用

地域活動の財源確保のため、ふるさと寄附金制度を運営し、活用を図る。

① 専門サイトの活用及び返礼品の拡充

ふるさと寄附金運営サイトに掲載する返礼品の拡充やクラウドファンディングの活用を通して、財源確保や本市特産品のPR、魅力の発信等を図る。



蔵元直送
東広島市の日本酒10歳定期便



東広島市ふるさと寄附金に係る返礼品（一例）

事業の概要

エ 高屋西地域センター複合施設の用地取得及び設計 (335,299 千円)

公共施設等総合管理計画に基づき、老朽化している高屋西地域センターを複合化し、新たな地域活動の拠点として移転新設するため、用地の取得及び設計を行う。

オ 高美が丘地域センター空調更新設計 (2,500 千円)

老朽化している高美が丘地域センターの空調設備更新を実施することにより、センター環境の改善を図り、利用者の利便性を向上させるため、空調更新設計を行う。

② 地域センター等の整備・改修工事 (407,091 千円)

ア 三永地域センター駐車場整備 (9,437 千円)

センター前面道路の拡幅工事に合わせて、駐車場不足を補うため駐車場の整備を行う。



三永地域センター

イ 西志和地域センター調理室等の設置 (120,646 千円)

令和4年4月に開設する西志和地域センターに、調理室等を設置するため、旧西志和小学校特別教室棟の改修工事を行う。



旧西志和小学校特別教室棟

事業の概要

ウ 小谷地域センター大規模改修工事（205,720 千円）

地域センター改修計画において、優先度が高い小谷地域センターについて、長寿命化のための大規模改修（屋根改修工事（陸屋根部防水改修等）、外壁改修、建具シール打替え、トイレ改修、空調改修、照明 LED 化、駐車場区画線工）を行う。

また、進入路の概略検討業務を行う。



小谷地域センター

エ 上黒瀬地区の活動拠点の整備（71,288 千円）

上黒瀬住民自治協議会の活動の場を確保や、小学校との連携を強化するため、上黒瀬小学校校舎の一部をホールに改修するための工事を行う。



上黒瀬小学校特別教室棟

事業の概要																													
戦略	2	活動拠点の充実	予算	827,962 千円	前年度 197,185 千円																								
事務事業	2-2	コミュニティ推進事業	予算	67,572 千円	前年度 140,012 千円																								
内容																													
2-2_コミュニティの推進																													
<p>住民主体によるコミュニティ活動を支援するため、その活動拠点となる集会施設の整備や集会施設を管理する自治会、住民自治協議会、住民組織等に対して、整備に関連する補助等を行うことにより、地域におけるコミュニティづくりを推進する。</p>																													
<p>① 市有集会施設等の整備及び維持管理（29,913 千円（前年度 57,296 千円）） 政策的に市が設立し、継続して保有する集会所の改修及び施設の修繕、維持管理等を行う。</p> <p>【令和4年度事業（主なもの）】 ○篠集会所改修工事（27,600 千円）</p>																													
<p>② 集会施設整備費の補助（30,159 千円（前年度 75,216 千円））</p> <p>ア 住民組織自らが行う集会施設の整備（新築・改築・修繕等）に対する補助金交付</p>																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>補助対象</th> <th>件数</th> <th>補助率</th> <th>限度額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改築</td> <td>5</td> <td>1/2</td> <td>650 万円</td> </tr> <tr> <td>修繕</td> <td>14</td> <td>1/2</td> <td>50 万円</td> </tr> </tbody> </table>						補助対象	件数	補助率	限度額	改築	5	1/2	650 万円	修繕	14	1/2	50 万円												
補助対象	件数	補助率	限度額																										
改築	5	1/2	650 万円																										
修繕	14	1/2	50 万円																										
<p>イ 集会施設の適正配置を進めるための譲渡集会施設の整備（改築・修繕等）に対する補助金交付</p>																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>補助対象</th> <th>件数</th> <th>補助率</th> <th>限度額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改築</td> <td>3</td> <td>3/4</td> <td>650 万円</td> </tr> <tr> <td>修繕</td> <td>4</td> <td>10/10</td> <td>100 万円</td> </tr> <tr> <td>解体</td> <td>0</td> <td>10/10</td> <td>全額</td> </tr> <tr> <td>下水道接続</td> <td>0</td> <td>10/10</td> <td>全額</td> </tr> <tr> <td>登記</td> <td>15</td> <td>10/10</td> <td>全額</td> </tr> </tbody> </table>						補助対象	件数	補助率	限度額	改築	3	3/4	650 万円	修繕	4	10/10	100 万円	解体	0	10/10	全額	下水道接続	0	10/10	全額	登記	15	10/10	全額
補助対象	件数	補助率	限度額																										
改築	3	3/4	650 万円																										
修繕	4	10/10	100 万円																										
解体	0	10/10	全額																										
下水道接続	0	10/10	全額																										
登記	15	10/10	全額																										
<p>③ 一般コミュニティ助成事業（7,500 千円（前年度 7,500 千円）） （財）自治総合センターが宝くじの普及・広報の一環として実施している一般コミュニティ助成事業を活用して、住民自治協議会に対し、地域のイベントや日常の活動に必要な資器材・備品等の購入費を助成する。 上限 2,500 千円（助成率 10/10）× 3 団体</p>																													
<p>④ 地縁団体の設立支援及び認可 集会所等の不動産を所有することとなる自治会等に対し、地縁団体の設立支援及び申請に基づく地縁団体の認可を行う。</p>																													

令和 4 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	6 多文化共生と国際化の推進
施策の将来の目標像	言語や文化の違いにかかわらず、外国人を含む全ての市民が、相互理解のもと、個性と能力を活かし、地域で共に活躍できる多文化共生の社会が実現しています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (R 1 年度)	目標値 (R 6 年度)
	「東広島市での暮らし」に満足している外国人市民の割合	84.7%	90.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 言語・文化等の違いによらない円滑な暮らしの実現	主管部局・所属	生活環境部 市民生活課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	言語や文化の違いにかかわらず、外国人を含む全ての市民が、相互理解のもと、個性と能力を活かし、地域で共に活躍できる多文化共生社会の実現	現状	外国人:必要な情報を入手できない等により、生活に困り事がある人がいる 日本人:外国人市民が多く暮らすことに不安を感じている人がいる	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
情報提供の充実や多言語対応、相談対応など外国人市民の生活支援	外国人市民の生活環境の充実		高	1
地域住民や同国出身者とのつながりの希薄さや、外国人市民の活躍の場の不足	外国人も共に活躍できる環境づくり		低	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R3	R4	R5		
(7) 外国人新規転入世帯に対する生活オリエンテーション実施率	33.0 (H30)		42.0	45.0	48.0	51.0 (R6)	%
(4)	()	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率				()	
(4)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	3 年度		29,870			
			6,696			
	R 年度		33,213			
	4 年度		12,195			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R3 当初予算額	R4 当初予算額
				R3 決算額	R4 決算額
1-1	2・1・7 外国人市民受入体制等整備事業	市民生活課	1.70	22,307	23,373
1-2	2・1・7 コミュニケーション支援事業	市民生活課	0.10	7,041	6,259
1-3	2・1・7 国際化推進プラン推進事業	市民生活課	0.10	306	153
2-1	2・1・7 外国人市民地域参画促進事業	市民生活課	0.20	216	3,428
合計			2.10	29,870	33,213

7 R4事業費の分析（差額＝「R4年度当初予算額」－「R4年度決算額」）		
差額	分析	
8 R4 成果指標の分析（成果指標の平均達成率）		
平均達成率	分析	
9 取組の分析		
区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	
10 総合評価		
総合評価	<総評>	
11 今後の課題及び取組方針		
課題		課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	6 多文化共生と国際化の推進	① 言語・文化の違いによらない円滑な暮らしの実現

事業の概要				
戦略	1 外国人市民の生活環境の充実	予算	29,785 千円	前年度 29,654 千円
事務事業	1-1 外国人市民受入体制等整備事業	予算	23,373 千円	前年度 22,307 千円

内容

1-1_外国人市民の受入体制等の整備

外国人市民が個性と能力を発揮し、安心して快適に暮らすことができるようにするために、受入体制等を整える。

① 相談体制の充実（12,700 千円（前年度 13,127 千円））

ア 外国人コミュニケーションコーナーの運営（サンスクエア東広島内）

コミュニケーションコーナーを開設し、多言語で生活相談に応じるほか、生活支援やイベント等各種情報を提供する。

(ア) 多言語による相談窓口の開設（英語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語）

相談時間	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日		日曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
英語	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
中国語	○		○									○	○	
ポルトガル語					○		○					○		
ベトナム語														○

(イ) 多言語による無料法律相談の実施（毎月 1 回/1 回あたり 3 人×45 分）

(ウ) 海外の情報誌や書籍を閲覧できる情報コーナーの開設

(エ) 対象者の特性に応じたツールを活用した情報発信



(多言語による相談窓口)



(情報コーナー)

② 情報提供の充実（6,731 円（前年度 5,411 千円））

ア 生活オリエンテーションの実施

新規転入の外国人へ必要な各種行政サービスや生活習慣、ルール等を説明するオリエンテーションを実施し、円滑な生活のスタートを支援する。

事業の概要

- (7) 転入手続き等来庁時のオリエンテーション（庁内窓口で随時実施）
 - (イ) 留学シーズンにおける大学への出張オリエンテーション（年2回程度）
 - (ウ) 事業所等への出張オリエンテーション（希望により随時実施）
- イ 相談機能の充実・行政資料等の多言語化の推進
行政国際化推進員の配置による窓口通訳、行政資料等の多言語化を推進する。（通年1名）
- ウ 各種行政窓口等における多言語対応の充実
自動翻訳ツールの配備により多言語対応の充実を図る。（15台配備）

（iPad 配備所属）管財課、市民税課、収納課、国保年金課（2）、こども家庭課、保育課、学事課、指導課（2）、青少年育成課、市民生活課（2）（ポケトーク配備所属）市民課（2）



（庁内窓口での生活オリエンテーション）（大学での生活オリエンテーション）

事業の概要					
戦略	1	外国人市民の生活環境の充実	予算	29,785千円	前年度 29,654千円
事務事業	1-2	コミュニケーション支援事業	予算	6,259千円	前年度 7,041千円
内容					
1-2_コミュニケーション支援					
① 日本語教室等の開催 (6,227千円 (前年度7,009千円))					
ア にほんごきょうしつ東広島Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ (各週2回)、漢字 (週1回) 日本語教師がレベルに応じて授業を実施する教室型の日本語教室を実施する。また、オンライン配信等による教室も実施し、受講者の利便性の向上を図る。					
イ にほんごわいわい (週1回・西条2クラス、八本松・黒瀬・安芸津各1クラス) ボランティアとの会話をとおして、日本語習得を支援する交流型の日本語教室を実施する。					
ウ One-to-Oneにほんご (随時) ボランティアと外国人市民が1対1で日本語での会話をとおして、外国人の日本語習熟度を高めるとともに、相互の国際理解を深める。					
エ にほんごひろばU-18 (小学生向け週1回、中高生向け週2回) 外国人児童生徒を対象に、日本語学習や教科学習の支援及び居場所づくりに取り組む。					
					
(にほんごきょうしつ東広島)			(にほんごわいわい)		
② 「やさしい日本語」の普及促進 (32千円 (前年度32千円))					
ア 市職員への「やさしい日本語」研修の実施 (年1回) 窓口等での外国人市民とのコミュニケーションを円滑にするため、市職員を対象に、外国人にもわかりやすい「やさしい日本語」の普及に向けた研修を実施する。					

事業の概要				
戦略	1	外国人市民の生活環境の充実	予算 29,785 千円	前年度 29,654 千円
事務事業	1-3	国際化推進プラン推進事業	予算 153 千円	前年度 306 千円
内容				
<p>1-3_国際化推進プランの推進</p> <p>審議会を開催し、第3次国際化推進プランの取組に対する実施状況の検証等を実施する。</p> <p>① 国際化推進プラン審議会の開催（153 千円（前年度 306 千円））</p>				

事業の概要				
戦略	2	外国人も共に活躍できる環境づくり	予算 3,428 千円	前年度 216 千円
事務事業	2-1	外国人市民地域参画促進事業	予算 3,428 千円	前年度 216 千円
内容				
<p>2-1_外国人市民の地域参画の促進</p> <p>外国人市民が地域とつながることにより、安心して生活し、地域社会で活躍できるよう啓発を行う。</p> <p>① 地域活動への参加促進（3,196 千円（前年度 100 千円））</p> <p>【拡】ア 多文化共生コーディネーターの増員 外国人市民の地域活動への参加を促進するため、多文化共生コーディネーターを配置し、地域の国際交流を支援する。</p> <p>【新】イ 地域づくり推進交付金の新設 外国人との交流に意欲のある住民自治協議会の活動を支援するため、地域づくり推進交付金の地域選択項目に「国際交流」に係るメニューを新設する。</p> <p>【活動指標】 地域選択項目「国際交流促進事業」 70 千円×5 団体</p> <p>② 市民への意識啓発（232 千円（前年度 116 千円））</p> <p>ア 外国人市民への啓発 各地域の自治会や地域行事等を紹介する外国人市民向け啓発資料の作成及びSNS等で発信する。</p> <p>イ 日本人市民への意識啓発 (7) 地域における外国人市民の状況等を紹介する啓発資料の作成及び提供 (1) 外国人集住地域等への「やさしい日本語」講座の実施</p>				

令和 4 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	6 多文化共生と国際化の推進
施策の将来の目標像	言語や文化の違いにかかわらず、外国人を含む全ての市民が、相互理解のもと、個性と能力を活かし、地域で共に活躍できる多文化共生の社会が実現しています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (R 1 年度)	目標値 (R 6 年度)
	「東広島市での暮らし」に満足している外国人市民の割合	84.7%	90.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 国際交流と相互理解の促進	主管部局・所属	生活環境部 市民生活課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	友好都市・親善都市等との都市間交流や、地域に暮らす日本人・外国人市民の交流機会の創出により、市民の国際感覚の醸成と異文化理解の促進を図る	現状	外国人：交流したいと思っているが交流できていない人がいる、地域住民との交流がなく地域に溶け込めていない人がいる 日本人：外国人市民が多く暮らすことに不安を感じている人がいる	
課題	誰もが参加しやすい交流機会が少なく異文化理解が十分でない 交流を支える団体間のつながりが十分でない	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
		交流による異文化理解の促進	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R3	R4	R5		
(7) 多文化共生事業参加者数	3,027 (H30)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	3,300	3,400	3,500	3,600 (R6)	人
(1) 「東広島国際フェスタ」参加者数	2,400 (R3)			2,500	2,600	2,700 (R6)	人
(4)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R 3 年度			8,948			
			1,725			
R 4 年度			9,782			
			2,805			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R3 当初予算額	R4 当初予算額
				R3 決算額	R4 決算額
1-1	2・1・7 国際交流推進事業	市民生活課	0.80	7,656	8,490
1-2	2・1・7 都市間交流推進事業	市民生活課	0.20	1,292	1,292
合計			1.00	8,948	9,782

7 R4事業費の分析（差額＝「R4年度当初予算額」－「R4年度決算額」）		
差額	分析	
8 R4 成果指標の分析（成果指標の平均達成率）		
平均達成率	分析	
9 取組の分析		
区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	
10 総合評価		
総合評価	<総評>	
11 今後の課題及び取組方針		
課題		課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	6 多文化共生と国際化の推進	② 国際交流と相互理解の促進

事業の概要					
戦略	1	交流による異文化理解の促進	予算	9,782 千円	前年度 8,948 千円
事務事業	1-1	国際交流推進事業	予算	8,490 千円	前年度 7,656 千円

内容

1-1_国際交流の推進

外国人市民と日本人市民が相互理解のもと、共に市民として暮らす多文化共生のまちづくりを実現するために、多様な市民の交流を推進し、国際感覚の醸成と相互理解を深める。

① 交流機会の創出と活動の支援（7,851 千円（前年度 6,854 千円））

※H I C = （公財）ひろしま国際センター

ア 誰もが参加しやすい交流機会の創出

(ア) 国際化推進協議会による交流事業（東広島国際フェスタ等）

交流団体、学生、企業等様々な個人・団体と連携し、誰もが参加しやすい国際交流イベント等を開催する。また、多様な交流団体や個人が連携することで、相互協力の体制づくりやネットワークの充実を図り、国際交流活動の活性化に繋げる。

(イ) H I C と連携した多文化共生事業（子ども英語村、東広島バスツアー、子育て交流会等）

外国人市民、日本人市民の交流機会の提供を行うことにより、地域の国際化や多文化共生を推進する。

イ 新たなつながり作りのための交流機会の創出

広島大学に新設された国際交流拠点施設「ミライクリエ」を活用し、定期的に交流の場を設け、外国人市民の国別コミュニティの形成や市民との交流を促進する。

ウ 交流団体が実施する事業の情報発信等の支援

広報紙や国際化推進協議会の facebook 等を活用し、随時、情報を発信する。



(スピーチコンテスト)



(東広島国際フェスタ)

事業の概要

② 意識啓発、異文化理解の促進（463 千円（前年度 618 千円））

ア 外国人市民への意識啓発、異文化理解の促進

(7) 国際化推進協議会による交流事業（七夕茶会、新年交流会等）

外国人市民を対象に日本文化紹介・体験の交流会を行い、和文理解を促進する。

イ 日本人市民への意識啓発、異文化理解の促進

(7) H I C と連携した多文化共生事業（やさしい日本語講座）

異文化理解のきっかけづくりとして、日本人市民に対して、「やさしい日本語」講座等をとおして意識啓発を行う。



(新年交流会)



(子育て交流会)

③ 交流を支える団体への支援及び人材の育成（176 千円（前年度 184 千円））

ア 国際交流関係団体への支援

イ 国際交流ボランティアの登録促進及び研修会の実施（年 2 回）

団 体 名
東広島市国際化推進協議会
東広島市日中親善協会
東広島市日韓親善協会
広島ベトナム平和友好協会
広島アセアン協会

(主な関係交流団体)



(国際交流ボランティア研修会)

事業の概要

戦略	1	交流による異文化理解の促進	予算	9,782 千円	前年度	8,948 千円
事務事業	1-2	都市間交流推進事業	予算	1,292 千円	前年度	1,292 千円

内容

1-2_都市間交流の推進

友好都市である中国徳陽市からの定期訪問団受入れをはじめとした、海外都市との交流を推進する。

① 中国徳陽市からの定期訪問団の受入れ（1,255 千円（前年度 1,255 千円））

令和4年度 分野別基盤事業（予算）シート

まちづくり大綱

2 暮らしづくり

内容

<総務部（経営戦略担当分）>

(1) 地域情報化の推進（115,857千円（前年度107,062千円））【2款1項8目】

① 情報通信基盤の整備（うち113,235千円）

ア 通信・放送サービスを提供するための引込線の敷設

市が整備・所有する光ファイバケーブル網及び付帯設備を用いて 公設民営方式により提供するインターネット接続サービス又はケーブルテレビ視聴サービスについて、サービス利用契約者に対してサービスが利用できる環境を整備する。

イ 情報通信基盤の保守等

情報通信基盤（光ファイバケーブル網）の修繕、支障移転などの保守・維持管理を行う。

② 公衆無線LANの運営（うち2,622千円）

公共施設に公衆無線LAN機器を設置し、施設利用者が手軽にインターネットを利用できる環境の維持管理等を行う。

<地域振興部>

【拡】(1) 地域センター等の管理運営

(347,159千円（前年度311,306千円））【2款1項9目】

地区拠点施設を地域センターに転換（西志和）するため、維持管理費を増額した。

① 地域センター及び地区拠点施設の維持管理（うち104,373千円）

市内36地域センター（うち直営は7施設）及び12地区拠点施設の維持管理を行う。

② 地域センター職員の配置（うち43,541千円）

地域センターの管理運営、住民自治協議会事務の補助及び生涯学習活動を行う職員（センター長、事務職員、事務補助員）を配置する。

③ 地域センターの指定管理（うち199,245千円）

地域センターでの活動をより活発なものとするため、地域の状況に応じた運営ができるよう地域センターに指定管理者制度を導入する。（令和4年度：29施設）

<生活環境部>

(1) 生業資金等債権の管理（214千円（前年度295千円））【3款1項6目】

① 債権の回収・管理

生業資金等貸付金の債務者（連帯保証人、相続人含む）に対して、電話等での納付指導を行うとともに、訪問や口座振替等による債権回収及び債権管理を行う。

内容

(2) 人権センターの管理運営

(34,052 千円 (前年度 35,354 千円)) 【3 款 1 項 6 目】

① 人権センターの管理運営 (うち 31,899 千円)

市民の福祉向上や人権啓発の推進の拠点となる市内 4 人権センターの維持管理を行う。

② 交流促進講座等の開催 (うち 2,153 千円)

市民相互の交流によって本市に生きることが誇りに持てる地域社会づくりに資するため、地域ニーズに即した各種教養・文化活動の講座等を開催する。
令和 2 年度実績：32 講座、4,417 人参加

(3) 衛生施設浸水等の対応 (750 千円 (前年度 750 千円)) 【4 款 1 項 1 目】

① 衛生施設浸水への見舞金 (うち 250 千円)

豪雨等の自然災害により、家屋において床上浸水又は床下浸水の被害を受けた世帯に対し、市民の福祉と生活の安定に資するため、浸水見舞金を交付する。

② 衛生施設流入土砂等の撤去 (うち 500 千円)

災害救助法適用時において、災害により衛生施設に土砂等が流入した世帯に対し、衛生施設の早期復旧と生活の安定に資するため、流入した土砂等の撤去を行う。

(4) 斎場の適切な管理運営

(143,836 千円 (前年度 205,642 千円)) 【4 款 1 項 4 目】

① 斎場 (5 か所) の管理運営、火葬業務

高齢化の進展に伴い利用の増加が見込まれるため、斎場 5 か所 (ひがしひろしま聖苑、黒瀬斎場、豊浄苑、河内斎場、安芸津斎場) の維持管理等を行う。

・ひがしひろしま聖苑火葬炉設備修繕 25,168 千円 等

(5) 市営墓地 (ひがしひろしま墓園を除く) の貸付、維持管理

(944 千円 (前年度 1,168 千円)) 【4 款 1 項 4 目】

① 市営墓地 (5 か所) の管理運営

ひがしひろしま墓園を除く旧町から引き継いだ墓園 5 か所 (金口墓園、陰地墓園、中屋谷第 1 墓園、中屋谷第 2 墓園、下河内墓園) の維持管理等を行う。

(6) 特定地域生活排水処理事業特別会計への繰出金

(4,818 千円 (前年度 3,763 千円)) 【4 款 1 項 4 目】

① 特定地域生活排水処理施設の管理運営費への繰出金

市 (旧河内町) が設置した小型浄化槽を適切に維持管理するため、使用料収入では賄えない部分に対し、一般会計から繰出しを行う。

内容

(7) 生活衛生事業の推進（470 千円（前年度 635 千円））【4 款 1 項 4 目】

① 生活衛生関係営業施設等に関する事務

生活衛生営業六法関係施設、墓地、専用水道や簡易専用水道、特定建築物や化製場等に関する手続き等の事務を行うとともに、各施設への立入監視指導や報告聴取によって、適切な衛生管理が行われるよう指導を行う。

(8) 清掃管理（686 千円（前年度 693 千円））【4 款 2 項 1 目】

廃棄物の処理及び清掃に係る許認可等事務、関係機関等との連絡調整等を行う。

(9) 広島中央環境衛生組合への負担金

（1,609,475 千円（前年度 2,145,981 千円））【4 款 2 項 1 目】

① 広島中央環境衛生組合の運営等経費への負担金

本市、竹原市及び大崎上島町の 2 市 1 町が一般廃棄物の広域処理を行うために設置した、広島中央環境衛生組合の運営費等を負担する。

(10) ひがしひろしま墓園の貸付、維持管理

（10,884 千円（前年度 10,860 千円））【1 款 1 項 1 目】

（ひがしひろしま墓園管理事業特別会計）

① ひがしひろしま墓園の管理運営

ひがしひろしま墓園の維持管理等を行う。

<建設部>

(1) 地籍調査事業（29,689 千円（前年度 17,925 千円））【6 款 1 項 5 目】

① 地籍調査の実施（うち 27,606 千円）

地籍の明確化を図るため、国土調査法等の関係法令に基づき、安芸津町木谷の一部（0.06 km²）において、地籍図原図及び地籍簿案を作成し、一般の閲覧に供するとともに、西条町郷曾の一部（2.38 km²）において、一筆地調査、一筆地測量等を実施する。

② 地籍調査成果の管理（うち 2,083 千円）

本庁、支所及び出張所で保管する成果物について、引き続き適切な取扱いに努めるとともに、成果の誤り等が判明した場合に迅速な対応を図るなど、一層の適正管理を推進する。

(2) 駐車場の管理・運営（314,451 千円（前年度 168,926 千円））【8 款 2 項 1 目】

① 施設の管理運営（うち 83,748 千円）

市内の無料自転車駐車場（20 施設）の清掃、管理及び有料自転車駐車場（5 施設）・有料駐車場（9 施設）の管理を行う。

② 自転車駐車場及び駐車場の修繕（うち 1,698 千円）

各駐車場施設の修繕を行う。

内容

- ③ 放置自転車の撤去保管（うち 4,425 千円）
市内の放置禁止区域内の放置自転車及び自転車駐車場内の長期放置自転車等の撤去や保管及び返還を行う
- ④ 自転車駐車場及び駐車場施設の使用料（うち 61,184 千円）
西条岡町駐車場リース料
- ⑤ 自転車駐車場敷地の借地料（うち 3,396 千円）
西条、白市、西高屋各駅前自転車駐車場（4 施設）の借地料
- ⑥ 西条駅前第 1 自転車駐車場の改修（うち 160,000 千円）
老朽化した施設について、一部改修を行う。

(3) 土木施設の管理（49,568 千円（前年度 47,433 千円））【8 款 2 項 1 目】

公共土木施設等各施設の維持管理や道路・河川等の各種施設の台帳管理、許認可等事務を執行するのに必要な経費を計上する。

- ① 道路・河川管理に係るデータ更新、計画策定等業務（うち 13,960 千円）
道路河川の入力データ作成、認定道路の台帳整理及び更新する業務を行う。
- ② 駅前広場等施設の維持管理業務（うち 26,239 千円）
八本松駅等の駅施設及び駅前広場（10 か所）、公衆トイレ（5 か所）、及び吉行横断地下道を維持管理するために必要な業務を行う。
- ③ 施設修繕（うち 3,539 千円）
公衆トイレ及び駅前広場等の施設を適切に維持するために必要な修繕を行う。
- ④ 団地内生活道路市道編入測量費補助（うち 2,000 千円）
法規制前造成団地内道路の市道編入に必要な測量費等経費に対する補助を行う。
- ⑤ 保険料等（うち 3,830 千円）
道路賠償責任保険

(4) 電源立地地域の対策（4,588 千円（前年度 4,588 千円））【8 款 2 項 2 目】

棕梨川水力発電所設置による減水区間地域の環境激変緩和のための対策を行う。

- ① 道路修繕に係る工事（うち 4,588 千円）
七の組循環線などの道路側溝整備工事を行う。

<都市部>

(1) 開発指導事務の適正かつ効率的な実施

（14,211 千円（前年度 2,228 千円））【8 款 5 項 1 目】

- ① 都市計画法に基づく許可・検査及び指導を行う。
- ② 宅地造成等規制法に基づく許可・検査及び指導を行う。
- ③ 国土計画法及び公有地の拡大の推進に関する法律の事務処理を行う。
- ④ 開発登録簿情報の電子化を行う。

内容

(2) 安全・安心な憩いの場となる公園の維持

(562, 229 千円 (前年度 590, 490 千円)) 【8 款 5 項 4 目】

安全・安心な憩いの場となる公園を維持するため、施設の管理や修繕および更新を行う。

- ① 東広島運動公園、憩いの森公園の指定管理
- ② 樹木育成管理
- ③ 清掃等管理
- ④ 施設の修繕・更新

(3) 市営住宅等の管理・運営

(100, 321 千円 (前年度 105, 889 千円)) 【8 款 6 項 1 目】

- ① 施設の維持修繕 (うち 75, 787 千円)
指定管理者制度を活用し、市営住宅の維持修繕を行う。
- ② 市営住宅に係る経常経費 (うち 15, 922 千円)
市営住宅の土地賃借料及び光熱水費等
- ③ 住宅使用料等の滞納整理 (うち 4, 216 千円)
滞納家賃の督促及び臨戸訪問等により滞納整理を行う。
- ④ 入居者情報管理 (うち 1, 870 千円)
住宅システムの保守等に係る経費。
- ⑤ その他事務 (うち 2, 526 千円)
市営住宅管理の必要経費 (消耗品費、役務費等)

